慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	戸川秋骨著作目録稿
Sub Title	
Author	松村, 公子(Matsumura, Kimiko)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2006
Jtitle	三田國文 No.44 (2006. 12) ,p.29- 103
JaLC DOI	10.14991/002.20061200-0029
Abstract	
Notes	図削除
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20061200-0029

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

戸川秋骨著作目録稿

松村公子

凡例

一、マイクロ版も含め、原本を確認出来た著作を掲載した。原本未確認の項目については、注記を附した。

一、各項目の記載順は、発行年月日、表題、分類、掲載誌及び巻号数、掲載ページ、戸川秋骨（秋骨、秋骨生）以外の筆名、発行者とした。単行本の表題はゴシック体で表記した。但し分類については、必要に応じて〔　〕で示した。

一、表題の表記が、目次と本文の間で異なっている場合は、本文の表題を採用した。

一、必要に応じて、各項目の後に＊印を附して、注を加えた。

一、翻訳の原作者の表記は、一般に通用している場合を除き、原綴を採用した。

一、通しページ数でないものについては、＊一―二のように印をつけて示した。

一、秋骨以外の著作も併録されている場合は、総題の後に「ノウチ」を附した。

一、漢字は特別な例を除き、新字体を用いた。

明治二五年

九月　17　沙翁曲中の恋人（其一）〔翻訳〕　女学雑誌（赤表）　三二七　一六―一七

一〇月　1　沙翁曲中の恋人（其二）〔翻訳〕　女学雑誌（赤表）　三二八　一三―一六

一一月　12　沙翁曲中の淑女〔翻訳〕　女学雑誌（赤表）　三三一　一〇―一二

26　バイロン卿の曼弗列度を論す（上）　女学雑誌（赤表）　三三二　一九―二〇

一二月　24　バイロンとゲーテ（下）　女学雑誌（赤表）　三三四　六―八

明治二六年

一月　14　日本の思想界に於ける情（上）　女学雑誌（白表）　三三六　五―八

21　女子撰挙権に関する古今卓説集〔翻訳〕　女学雑誌（赤表）　三三六　一五―一八

28 日本の思想界に於ける情（下） 女学雑誌（白表）三三七 七―一〇 棲月生 女学雑誌社

二月 4 女子撰挙権に関する卓論集（二）〔翻訳〕 女学雑誌（赤表）三三七 二二―二三 署名なし 女学雑誌社

三月 31 知心影に題す ＊一 棲月 女学雑誌社

31 英国騒壇の女傑ジョージイリオツト 文学界 三 ＊一―九 棲月 女学雑誌社

四月 29 花幻 文学界 四 ＊一三 棲月 女学雑誌社

五月 31 俳人の性行を想ふ 文学界 五 ＊一六―一九 棲月 文学界雑誌社

九月 30 山家漫言 文学界 九 九―一二 文学界雑誌社

一一月30 ゲーテの小河の歌を読む 文学界 一一 六―八 文学界雑誌社

明治二七年

一月 30 変調論 文学界 一三 二―七 文学界雑誌社

二月 28 花のゆくゑ 文学界 一四 五―六 鴎水 文学界雑誌社

28 活動論 文学界 一四 一七―二〇 文学界雑誌社

六月 30 哀傷〔俳句〕 文学界 一八 一四 鴎水 文学界雑誌社

八月 30 迷夢 文学界 二〇 二〇―二二 鴎水 文学界雑誌社

30 やぶにらみ其一（一）今の基督教 文学界 二〇 二七―二九 長帆 文学界雑誌社

九月 30 やぶにらみ（二）日本評論の宗教論 文学界 二一 二九―三〇 長帆 文学界雑誌社

一〇月30 罔影録 文学界 二二 六―一一

30 秋風粛條記 文学界 二二 三一―三二 長帆 文学界雑誌社

一一月30 秋窓夜話 文学界 二三 一一―一三 鴎水 文学界雑誌社

明治二八年

一月 30 自然私観 文学界 二五 一―一〇 文学界雑誌社

三月 30 歌祭文の曲を聴く 文学界 二七 四―六 鴎水 文学界雑誌社

七月 30 気焔何処にある 文学界 三一 一〇―一四 文学界雑誌社

八月 30 松風 文学界 三二

九月　30　文学復興期の事を想ふ　二八―二九　鴎水　文学界雑誌社
　　二五―二九　早川漁郎　文学界雑誌社
一一月30　夕顔及び玉かつらの巻　四―八　鴎水　文学界雑誌社
一二月2　二日の旅　四　読売新聞　合名会社日就社

明治二九年

一月　10　近世の思潮を論す　一―一四　帝国文学　二―一　戸川明三　大日本図書株式会社
　30　近年の文海に於ける暗潮　三一―三五　文学界　三七　早川漁郎　文学界雑誌社
五月　10　英詩評釈（一）〈トーマス、グレー及び其の春の歌〉　少年文集　二―五　博文館　四四―四七
＊明治31年3月10日まで19回連載
　26　以太利盛時の文学　五八―六〇　うらわか草　文学界雑誌社
七月　10　英詩評釈（二）〈グレーの春の歌〉　少年文集　二―七　戸川秀骨　博文館　五〇―五三
　25　磯の嵐〔翻訳〕　一〇八―一一一　文芸倶楽部　二―九　博文館
八月　10　伊太利文芸の主導者故サイモンツ氏〔Frederic Harrison の原著の翻訳〕　帝国文学　二―八　早川漁郎　大日本図書株式会社　六六―八一
　10　英詩評釈（三）〈グレーの春の歌（つづき）〉　少年文集　二―八　戸川秀骨　博文館　四三―四七
九月　5　希臘及希伯来の思想管見　一五五―一五八　太陽　二―一八　博文館
＊10月5日に続く
　10　近代文学の傾向　一―九　帝国文学　二―九　戸川明三　大日本図書株式会社
　10　英詩評釈（四）〈シェレー及び其の西風の賦〉　少年文集　二―九　戸川秀骨　博文館　四四―四八
　30　書窓月明の辞　七―九　文学界　四五　文学界雑誌社
一〇月5　希臘及希伯来の思想管見（承前）　一五五―一五八　太陽　二―二〇　戸川秀骨　博文館
　10　英詩評釈（五）〈シェレーが西風の辞〉　少年文集　二―一〇　戸川秀藏　博文館　四四―四七
　30　オウィッドと自然界〔翻訳〕　五―一四　文学界　四六　文学界雑誌社

一一月3　恋愛に対する日本の小説と西欧の詩歌と　文芸倶楽部　二一―一三　博文館　一九〇―一九三

10　英詩評釈（六）〈シェレーの西風の賦〉　少年文集　二―一一　戸川秀骨　博文館　四五―四八

一二月7　塵影〔評論〕　読売新聞　四

＊明治31年6月27日まで60回連載

10　英詩評釈（七）〈シェレー及ひ其の西風の賦〉　少年文集　二―一二　博文館　四三―四六

14　塵影〔評論〕　読売新聞　四

21　塵影〔評論〕　読売新聞　四

29　塵影〔評論〕　読売新聞　一

明治三〇年

一月11　塵影〔評論〕　読売新聞　四

18　塵影〔評論〕　読売新聞　四

20　塵影〔評論〕　読売新聞　四

25　塵影〔評論〕　読売新聞　四

30　懐旧　文学界　四九　二四―二五

二月1　塵影〔評論〕　読売新聞　四

8　塵影〔評論〕　読売新聞　四

15　塵影〔評論〕　読売新聞　四

22　塵影〔評論〕　読売新聞　四

28　薄運　文学界　五〇　六―七

三月1　塵影〔評論〕　読売新聞　四

8　塵影〔評論〕　読売新聞　四

10　英詩評釈〈ヲルズヲルス及ひ其の杜鵑の歌（一）〉　少年文集　三―三　戸川秀骨　博文館　三〇―三三

15　塵影〔評論〕　読売新聞　四

22　塵影〔評論〕　読売新聞　四

四

門外生　合名会社日就社

29　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

31　プローヴァンスの恋歌　一―八　文学界　五一　文学界雑誌社

四月

5　英文学と伊太利文学との関係　一一二―一一八　太陽　三―七　博文館

5　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈ヲルズヲルスの杜鵑の歌（一）〉　二六―二九　少年文集　三―四　博文館

12　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

19　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

20　主教ニコライ氏の宗教談　一七三―一七六　太陽　三―八　早川漁郎　博文館

26　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

30　革命の余波〔翻訳〕　二〇―二八　文学界　五二　かげろふ　文学界雑誌社

＊5月31日に続く

五月

1　中世史研究の趣味　二六―三一　世界之日本　一五　開拓社

3　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈ヲルズヲルスの杜鵑の歌（三）〉　二七―二九　少年文集　三―六　博文館

17　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

24　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

31　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

31　暮春の辞　三―六　文学界　五三　文学界雑誌社

六月

31　革命の余波〔翻訳〕　一九―二五　文学界　五三　かげらふ　文学界雑誌社

7　塵影〔評論〕　三　読売新聞　門外生　合名会社日就社

9　塵影〔評論〕　一　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈ヲルズヲルス少女の歌〉　二九―三一　少年文集　三―七　戸川秀骨　博文館

21　坪内氏の牧の方を読む　読売新聞

七月

7 塵影〔評論〕 四 門外生 合名会社日就社

9 塵影〔評論〕 一 門外生 読売新聞 合名会社日就社

10 英詩評釈〈ヲルズヲルスの少女の歌（続）〉 一 門外生 読売新聞 合名会社日就社

12 塵影〔評論〕 三一―三四 戸川秀骨 少年文集 三―八 博文館

19 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

26 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

31 イスラエル文学の詩趣（其の一） 一一―一六 文学界 五五 文学界雑誌社

八月

2 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

10 文芸に於ける女性 五二―六二 早川漁郎 帝国文学 三―八 大日本図書株式会社

15 恋衣（一）〔翻訳〕 鴎水生 読売新聞 合名会社日就社

＊10月8日までの間に47回連載。但し9月1、11、15、16、25、29、10月4日は休載

九月

6 塵影〔評論〕 五 戸川秀骨 読売新聞 門外生 合名会社日就社

10 英詩評釈〈ロバルト、バルンスの「人生嘆」の歌〉 二四―二八 戸川秀骨 少年文集 三―一〇 博文館

13 文界くさ〳〵〔評論〕 五 門外生 読売新聞 合名会社日就社

20 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

27 塵影〔評論〕 五 門外生 読売新聞 合名会社日就社

一〇月4 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

6 利根の川風 七―一〇 文学界 五七 文学界雑誌社

10 英詩評釈〈バルンスの人生嘆の歌〉 二七―二九 博文館 少年文集 三―一二

11 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

18 塵影〔評論〕 五 門外生 読売新聞 合名会社日就社

25 塵影〔評論〕 四 門外生 読売新聞 合名会社日就社

一一月1 塵影〔評論〕 読売新聞

四　門外生　合名会社日就社

8　多情多恨と其の世評　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈バルンスの人生嘆の歌（続）〉　少年文集　三―一三　博文館　三四―三六

15　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

22　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

29　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

一二月

6　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈バルンスの人生嘆の歌（続）〉　少年文集　三―一四　博文館　三〇―三六

13　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

20　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

明治三一年

一月

1　英詩評釈〈青年のミルトン及ひ其の救主降誕の詩〉　少年文集　四―一　一三―一六　博文館

1　うたたねの記　二六―三二　文学界　五八　かげろふ　文学界雑誌社

1　塵窓余談　二―八　文学界　五八　文学界雑誌社

1　明治三十年の文学界　七　読売新聞　戸川明三　合名会社日就社

2　明治三十年の文学界　＊5回連載　読売新聞　戸川明三　合名会社日就社

3　明治三十年の文学界　四　読売新聞　戸川明三　合名会社日就社

4　明治三十年の文学界　三　読売新聞　戸川明三　合名会社日就社

6　明治三十年の文学界　四　読売新聞　戸川明三　合名会社日就社

17　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

24　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

31　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

二月

7　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英詩評釈〈ミルトンの救主降誕の詩（一）〉

一三―一六　少年文集　四―二　博文館

14　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

21　時流文学と社会の三層　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

28　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

三月

10　英詩評釈〈ミルトンの救主降誕の詩（二）〉　一四―一七　少年文集　四―三　博文館

14　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

21　高山氏の世界文明史を読む　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

四月

4　笹川氏の日本地気論を読む　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　英国詩壇の芸術的趣味　一三―二八　帝国文学　四―四　戸川明三　大日本図書株式会社

18　小説及び文芸倶楽部　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

25　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

五月

9　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

10　都風及び田舎風　七五―八三　帝国文学　四―五　早川漁郎　大日本図書株式会社

16　塵影〔評論〕　五　読売新聞　門外生　合名会社日就社

30　塵影〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

六月

13　従卒〔翻訳〕　五　読売新聞　合名会社日就社

20　文界くさ〳〵〔評論〕　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

27　塵影の筆を収むるの辞　四　読売新聞　門外生　合名会社日就社

明治三二年

七月

17　文芸と人道との関係〔論説〕　一―五　学友会報　第五号　戸川明三　山口高等学校学友会

八月

3　吾が国民の自然観　四一九―四二二　中学新誌　三―七　戸川明三　中学書院

15　西洋御伽草子〔羅馬人の行為〕の抄訳〕　二九―三四　少年世界　五―一八　博文館

九月

1　文芸との人道の関係　四六一―四六五　中学新誌　三―八　戸川明三　中学書院

＊本文表題の表記を採用した。目次表題は「文芸と人道の関係」

明治三三年

六月　30　西教の経典〔論説〕　学友会報　第八号　一―五

一二月27　西教の経典（つゝき）〔論説〕　学友会報　第十号　八―一五

明治三四年

一〇月10　現代の士風及び学風　帝国文学　七―一〇　一―一六

一一月20　サッフォーがしな変りたる恋の心を読みたる歌〔抄訳〕　半面一―四

一二月10　坪内博士の英文学史を読む　帝国文学　七―一二　一三〇―一三二

明治三五年

一月　1　煙草の頌　明星（第二次）一　六三―六四

10　十九世紀の英雄　中学世界　五―一　一三四―一三七

二月　10　オリムパスの山頭にペテロとパウロとが下しゝ審判〔翻訳〕　帝国文学　八―二　一五―二〇

四月　1　明星（第二次）四　三二―三三

10　めをと〔翻訳〕　帝国文学　八―四　三四―三七

15　大蔵大臣〔エミール・ゾラの原著の翻訳〕　文芸界　一―二　一〇八―一六四

五月　15　パウル、ブルジェーの新著　文芸界　一―三　二一七―二一八

六月　15　科学的自然派の時代去り、博愛的トルストイの時代去り、野獣的マキシム、ゴルキーの時代来れり　文芸界　一―四　二二九―二三七

八月　11　テニソンのアアサア物語　芸文　二　五―一七

11　金色夜叉上中下篇合評〔合評〕　芸文　二　八六―一〇一、一〇六―一三八

九月　10　西欧文学紹介に関する疑問　帝国文学　八―九　七四―七七

10　**金港堂小説叢書　第三冊**ノウチ　大蔵大臣　一三五―一九九

一〇月1　**透谷全集**（星野慎之輔編）ノウチ　序文　五―六

明治三六年

一月　1　今日のラファエル前派〔Percy Batesの原著の抄訳〕　明星（卯歳）一　九一―九四　東京新詩社

10　球突〔アルフォンス・ドーデー「月曜物語」の抄訳〕　帝国文学　九―一　二七―三四　大日本図書株式会社

二月　10　近欧の傾向小説　帝国文学　九―二　一―二二　戸川明三　大日本図書株式会社

三月　10　近欧の傾向小説（承前）　帝国文学　九―三　一二―二八　戸川明三　大日本図書株式会社

15　文芸復興とロオマンチシズム　文芸界　二―一四　一四六―一五五　金港堂

28　**世捨人**〔Robert L. Stevenson "Will o'The Mill"の訳註〕　博文館・東京堂

四月　1　平田禿木君の西遊を送る　明星（卯歳）四　二八―二九　東京新詩社

10　机辺の小友　帝国文学　九―四　二四三―二四八　大日本図書株式会社

九月　10　ゾラの「真理」　帝国文学　九―九　六七―七四　蒼梧洞主　大日本図書株式会社

一二月20　十九世紀の主要なる英詩に顕れたる希臘神話　英文新誌　一―一二・一三〔合併号〕　二六　戸川明三　英文新誌社

＊明治37年3月1日まで4回連載

明治三七年

二月　1　十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話　英文新誌　一―一五　一一　戸川明三　英文新誌社

15　十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話（其三）　英文新誌　一―一六　一〇　戸川明三　英文新誌社

三月　1　十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話（其三）　英文新誌　一―一七　一二　戸川明三　英文新誌社

＊（其三）については本文表題表記のママ

四月　1　時言三則　明星（辰歳）四　一五―一六、一九―二〇　東京新詩社

明治三八年

一月　1　現英の写実小説　明星（巳年）一　一八―二二　東京新詩社

六月　1　三個の金言　少年世界　一一―八　一〇八―一一二　博文館

19　回顧の辞　学友会報　三〇　一一九　戸川明三　山口高等商業学校学友会

七月　15　村夫子の小文庫　学鐙　九―七　四―一三　戸川明三　丸善株式会社

一一月3　寒薔薇〔翻訳〕　電報新聞　電報新聞社

＊明治39年3月5日まで123回連載

明治三九年

一月 1 美術上の猫（一） 光風 二一―一 光風発行所 二三―二六

10 旗手軍曹〔アルフォンス・ドーデー「月曜物語」の抄訳〕 帝国文学 一二―一 大日本図書株式会社 一二〇―一二九

三月 1 悪縁〔ハーディ「メランコリィ・フッザー」の翻訳〕 太陽 一二―四 博文館 一〇七―一二〇

1 美術上の猫（二） 光風 二―二 光風発行所 七―一一

四月 1 古典とは何ぞ 芸苑 四 佐久良書房 二―一八

1 予の愛読書 中央公論 二一―四 反省社 一二〇―一二二

六月 1 机上小観 中央公論 二一―六 反省社 五一―五七

＊9月1日まで4回連載

七月 1 机上小観 中央公論 二一―七 反省社 三四―四〇

八月 1 机上小観 中央公論 二一―八 反省社 三六―四一

1 静平の文学及び活動の文学 新小説 一一―八 春陽堂 一一―一八

1 秘密の写真〔コナン・ドイルの原著の翻訳〕 文芸界 五―八 金港堂 七六―九九

15 齋藤緑雨〔評伝〕 文章世界 一―六 博文館 一〇六―一一三

九月 1 現時の新体詩の価値ノウチ 中央公論 二一―九 反省社 九

1 机上小観 中央公論 二一―九 反省社 四〇―四七

20 **明治百家文選 全**（久保天随編）ノウチ 隆文館 五六―六〇

一〇月 1 机辺の小友 芸苑 一〇 佐久良書房 一―七

10 現代思潮の一瞥 中学世界 九―一三 博文館 四八―五一

一一月 1 豆粒物語 芸苑 一一 佐久良書房 二八―四〇

1 太平洋上の生活 中央公論 二一―一一 反省社 四八―五五

一二月 1 欧米旅行見聞録 中央公論 二一―一二 反省社 二四―三一

1 非武士道論

明治四〇年

一月 1 ニューヨーク知事選挙の夕 中央公論 二二―一

二月
1 大西洋上の楽境 六六—六八 芸苑 二—二 反省社
1 第二の故郷 六一—六四 趣味 二—二 佐久良書房
1 書牘三則（ハムブルクより）〔書簡〕 一一八—一二二 彩雲閣
1 北米大陸横断の記 七七 明星（未歳）二 東京新詩社
三月
1 欧米旅行見聞録〈巴里の夜景〉 一一—一八 趣味 二—三 彩雲閣
1 露西亜人 四六—五一 中央公論 二二—三 反省社
15 外遊瞥見 六八—七三 芸苑 二—三 佐久良書房
四月
1 北米大陸横断の記（承前） 四三—四七 文章世界 二—三 博文館
1 自然を敵としたる文化と自然を友としたる文化 九五—九八 趣味 二—四 彩雲閣
1 世界周遊 五一—六五 中央公論 二二—四 反省社
1 **西詞余情**〔翻訳・他〕 一一〇—一一四 家庭文芸 一—四 金港堂
五月
大蔵大臣、薄運、球突、旗手軍曹、机辺の小友、革命の余波、オリムパスの山頭にペテロとパウロとが下し〻審判、煙草の頌、従卒、めをと、悪縁 佐久良書房
1 近時の進歩したる大汽船 一二五—一三〇 家庭文芸 一—六 金港堂
1 太西洋東航日記 ＊六九—八二 趣味 二—五 彩雲閣
1 近代文学の鳥瞰景〔ロリエ「比較文学史」の抄訳〕 二—八 明星（未歳）五 東京新詩社
1 ミッドウェー島回想録 一九七—二〇七 太陽 一三—六 博文館
1 高山樗牛氏 六四—六五 中央公論 二二—五 反省社
1 青年大会及び救世軍大会所感 一三一—一三六 中央公論 二二—五 反省社
1 東西文物の比較 一〇—一三 新人 八—五 新人社
1 最近英国詩檀の新風潮 一—一一 芸苑 二—五 佐久良書房
六月
1 近代文学の鳥瞰景〔ロリエ「比較文学史」の抄訳〕 四九—五五 明星（未歳）六 東京新詩社
1 太平洋東航日記 ＊二五—三七 趣味 二—六 彩雲閣
15 美術館所感（「博覧会美術館概評」ノウチ）

光風　三―一　光風発行所　一―三

七月

1　近代文学の鳥瞰景（ロリエ「比較文学史」の抄訳）　明星（未歳）七　東京新詩社　二―五

28　米国の寄席（寸観録ノウチ）　新潮　六―六　新潮社　四四

1　福沢先生（「明治故人評論　福沢諭吉翁」ノウチ）　中央公論　二二―七　反省社　五七―六一

1　欧羅巴飛脚日記　趣味　二―七　彩雲閣　＊七八―八九

1　雪満山ノウチ（アンケート回答）　新小説　一二―七　春陽堂　一八

25　何故に英国文学は日本に行はれざる歟　新潮　七―一　新潮社　五―六

八月

1　寧ろ不良教員を撰まん哉　中央公論　二二―八　反省社　五九―六四

3（一）　引きうつり　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

＊「郊外生活」の総題で16回連載

5（二）　鶏自慢　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　八

6（三）　猫の俳味　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

7（四）　桜を切る人　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

8（五）　坐ながらの避暑　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

9（六）　移民の三種　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

10（七）　文士村？　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

12（八）　金二銭五厘　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

13（九）　日本唯一の社交場　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

14（十）　悪い事は出来ねェもので　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

16（十一）　貧と恋、冷と熱　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

19（十二）　愚劣な動物　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

20（十三）　尤も幸福なる犬　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

22（十四）　郊外一日の行事　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

23（十五）　二たび鶏自慢　東京朝日新聞　東京朝日新聞会社　六

24（十六）　縹致と財産　六　東京朝日新聞

九月

1　欧大陸飛脚日記　八三―九七　東京朝日新聞会社

1　英吉利思想　一一一―一二〇　趣味　二―九

1　金魚（小説）　一一三―一二七　太陽　一三―一二　彩雲閣

1　東京遊学者の心得ノウチ　四〇　博文館

10　英語教授上の実験　二八―三五　中央公論　二二―九

一〇月

1　緑雨君（「明治故人評論　斎藤緑雨論」ノウチ）　八九―九〇　中央公論　二二―一〇　戸川明三　中学世界　一〇―一一　博文館　反省社

1　平凡論　二一―二四　明星（未歳）一〇　東京新詩社

1　叙事叙景の文章　一八―二六　文章世界　二―一一　博文館

10　十九世紀の英雄　七―一〇　新国民　六―一　大日本国民中学会

一一月

1　高等学校の英語問題に関して当局の一読を煩はす　五八―六六　太陽　一三―一四　博文館

1　誤用せられたる高遠の真理　二二三―二九　中央公論　二二―一一　反省社

一二月

1　「明治学院」時代（談）　三八―四三　趣味　二―一二　易風社

1　外国思想と現代の教育　＊五―一五　新小説　一二―一二　春陽堂

1　デモル問題　一四四―一四七　中央公論　二二―一二　反省社

＊「モデル問題」の誤植カ

17　虞美人草を読みて　七　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所

明治四一年

一月

1　村の生活　五五―六〇　趣味　三―一　易風社

1　愛読せる西洋の小説戯曲二十五名士ノウチ　二一―二二　趣味　三―一（付録）　易風社

1　ステイヴンソンの小船旅行（翻訳）　一七〇―一七二　明星（申歳）一　東京新詩社

＊7月1日まで3回連載

二月

1　誤用され易き文芸上の論議　二一九―二二七　文章世界　三―二　博文館

10　**西詞余情**（三版）　集文館

＊明治40年5月発行の佐久良書房版と版型同一

三月
1 新思想としての自然主義　新人　九―三
一五―一九　新人社
1 必要なる性欲文学　中央公論　二三―三
七一―七四　反省社
15 **欧米紀遊二万三千哩**　服部書店
太平洋三十日記、北米大陸横断の記、太西洋東航日記、欧羅巴飛脚記行、太西洋西航日記、北米大陸逆行の記、太平洋帰航日記、付録　通信
四月
1 新興の文学は宗教の牙営に切り込めり　中央公論　二三―四
一一二―一一六　反省社
1 小船旅行記〔スティヴンソンの翻訳〕　明星（申歳）四
八六―八八　東京新詩社
15 英詩文評釈（一）オアズ河を下る記（スティヴンソン）　文章世界　三―五
六八―七四　博文館
＊12月15日まで6回連載
15 **二十八人集**（田山花袋・小栗風葉編）ノウチ
郊外生活　後編三七―五三　新潮社
20 教育上注意すべき事実　江湖　一―二
三二―三七　江湖社
五月
1 電車哲学　趣味　三―五
九一―九六　易風社
1 明治暗殺史の詩趣　中央公論　二三―五
二七―三六　反省社
9 禽獣即仏現在即永劫　東京二六新聞
頁表記なし　二六社
23 晩春郊外の感　東京二六新聞
頁表記なし　二六社
六月
1 学校通ひ　帝国文学　一四―六
三四―四一　大日本図書株式会社
1 徳冨蘇峰氏（「徳冨蘇峰論」ノウチ）　中央公論　二三―六
五七―六二　反省社
1 文壇重い葛籠　趣味　三―六
＊五九―六六　易風社
15 英詩文評釈〈評釈ドーヴァ海岸の歌（マシュウ・アーノード）〉　文章世界　三―八
七六―八二　博文館
27 思潮漫言（上）〈囚はれたる主義〉　東京二六新聞
六　二六社
＊3回連載
28 思潮漫言（中）〈時代の要求〉　東京二六新聞
六　二六社
29 思潮漫言（下）〈雛に驚く牝鶏〉　東京二六新聞
六　二六社
七月
1 神様の進化　太陽　一四―一〇
一一四―一一七　博文館
1 小船記行〔スティヴンソンの翻訳〕

明星（申歳）七　東京新詩社　二六―三〇

3　学生時代の学科に対する名流の回想ノウチ　江湖　一―四　江湖社　二四

15　大久保時代の独歩氏（「独歩氏が小学校以来の経歴」ノウチ）　新潮　九―一　新潮社　一三二―一三八

15　英文学の特質〔談〕　慶應義塾学報　一三二　慶應義塾学報発行所　一四―二一

15　英詩文評釈〈オスカアワイルドの戯曲の一節〉　文章世界　三―九　博文館　一一八―一二二

15　戦地へ行って討死する覚悟　文章世界　三―九　博文館　五七―五九

八月

1　余の読書　文章世界　三―一〇（臨時増刊）　博文館　八四―八七

1　先生商売　新人　九―八　新人社　一五―一八

5　郊外の住者（上）　東京二六新聞　二六社　六

＊3回連載

7　郊外の住者（中）　東京二六新聞　二六社　六

8　郊外の住者（下）　東京二六新聞　二六社　一〇月

15　英詩文評釈（四）　文章世界　三―一一　博文館　七八―八三

九月

1　生れ変らせると云つたらノウチ　趣味　三―九　易風社　＊五六

1　一顆涼ノウチ〔アンケート回答〕　新小説　一三―九　春陽堂　六―七

15　英詩文評釈（五）〈キングスレーの三漁夫の歌〉　文章世界　三―一二　博文館　七六―七九

20　文科大学の英文学科問題につきて（一）　東京二六新聞　二六社　六

＊4回連載

21　文科大学の英文学科問題につきて（二）　東京二六新聞　二六社　四

22　文科大学の英文学科問題につきて（三）　東京二六新聞　二六社　六

23　文科大学の英文学科問題につきて（四）　東京二六新聞　二六社　六

1　最近の小説壇ノウチ　新潮　九―四　新潮社　二九―三〇

10　通俗と専門　一　国民新聞　国民新聞社

一一月1　島崎君の不自然（「現代人物評論　島崎藤村論」ノウチ）　中央公論　二三―一一　反省社　五一―五三

1　読書雑感　文章世界　三―一四　博文館　八―一四

1　思想上の日英同盟と親露主義　早稲田文学　三六　東京堂書店　＊一―一二

1　銭湯の改築　趣味　三―一一　易風社　＊三五―四〇

5　女優、社会主義、而して儒教　明星（申歳）一〇　東京新詩社　一三八―一四二

15　徳富蘇峰先生に贈りてアンナカレニナの情操を論ず　文章世界　三―一五　博文館　八四―八九

18　**英文学講話**　東亜堂書房

緒論、英国の詩祖「チヨーサア」、シエーキスピヤ、エリザベス時代、スペンサー、文芸復興、ミルトル、小説家、アヂソン、スウイフト、「ローマンチシズム」「ナチュラリズム」、ウオーズウオルス、バイロン、シエレー、十九世紀の英文学、湖派詩人、キイツ、スコット、ド・クインシー、ラム、千八百三十七年、ディツケンス、ピックウイック、サッカレー、リットン、キングスレー、「オックスフォード、ムーブメント」、ニューマン、希臘思想・ヘブリユー思想、テニスン、ブラウニング、ロセツテイ、評論、雑誌、マコーレー　カーライル、マシュー・アーノルド、ラスキン及び其他の批評家、ブロンテ、エリオット、スティヴンソン、人間の獣生、英国の独創的長所、文学と科学

20　文壇諸名家雅号の由来ノウチ　中学世界　一一―一五　博文館　一七七―一七八

23　若い叔母さん（「一葉女史追懐談」ノウチ）　国民新聞　一七七―一七八

25　**時代私観**〔随筆集〕　一　国民新聞社　日高有倫堂

思想上の日英同盟と親露主義、明治暗殺史の詩趣、現代思潮の一瞥、平凡論　英吉利思想、新思想としての自然主義、青年大会及び救世軍大会所感、必要なる性欲文学、寧ろ不良教員を撰まん哉、誤用せられたる高遠の真理、電車とイブセン、非武士道論　新興の文学は宗教の牙営に切り込めり、教育上注意すべき事実、外国思想と現代の教育、机上小観（一、自覚の苦悶　二、基督教会は時勢に後れたり　三、伯爵大隈重信閣下　四、自然に接するの機五、所謂煩悶の側面観　六、西園寺内閣の文政　七、小説中の生活問題　八、文相の訓令出でゝ高野に女人登山の禁制解かる）、博覧会美術館所感、神様の進化、自然を友としたる文化と自然を敵としたる文化、福沢先生、蘇峰先生に送りてアンナ、カレニナの情操を論ず

一二月1　三宅先生（「現代人物評論　三宅雪嶺論」ノウチ）　中央公論　二三―一二　反省社　六六―六七

8　「春」　国民新聞

一　国民新聞社

11　蘇峰先生の愛国説を怪む（上）　東京二六新聞　二六社
六

12　蘇峰先生の愛国説を怪む（下）　東京二六新聞　二六社
六

15　英詩文評釈（六）〈自然と精霊（ジェッフェリーズの「吾が心の物語の一節」）〉　文章世界　三―一六　博文館
一二〇―一二三

15　ミルトンの詩に就て　英語青年　二〇―六　英語青年社
一三八―一三九（通巻）

明治四二年

一月　1　京都大学論　中央公論　二四―一　反省社
四一―四九

1　ラムの「新年の夕」〔評釈〕　英語世界　三―一　博文館
四―六

1　殿様の養鶏　趣味　四―一　易風社
一―八

1　近世英文学講話（一）　新声　二〇―一　隆文館
一三三―一三六

＊3月1日との2回連続

10　室内旅行　読売新聞
七

15　丸善回顧　文章世界　四―一　合名会社日就社

一七一―一七五

15　霜の朝の戸山の原　火柱　二―一　博文館
三―五

27　女優はどうなるかノウチ〔談〕　万朝報　ほのほ会
一

28　小説の前途如何ノウチ〔談〕　万朝報　朝報社
一

二月　2　文士推讃に就てノウチ〔談〕　東京毎日新聞　朝報社
一

5　**叢雲**（樋口秀雄編）ノウチ　東京毎日新聞社
時文六則、輪郭の文学、モデル問題、主義の看板、恋愛神聖と肉情文学、虞美人草を読みて　日高有倫堂
二六七―二八五

＊大正7年、松本商会出版部より再版発行

12　誤られたる自我主義　東京毎日新聞　東京毎日新聞社
一

13　誤られたる自我主義　東京毎日新聞　東京毎日新聞社
一

三月　1　近世英文学講話（二）　ディケッンス　新声　二〇―三　隆文館
二二―二二六

＊本文の表題表記のママ

1　文士の見たる政治家ノウチ　太陽　一五―四　博文館
一三〇―一三一

14　現代の建築（上）　読売新聞

七

15 現代の建築（下） 一九 読売新聞 合名会社日就社

16 文学と語学（上） 一 国民新聞 国民新聞社

17 文学と語学（下） 一 国民新聞 国民新聞社

28 蔵書の追想 六 読売新聞 合名会社日就社

四月

1 政治文学 一—一三 帝国文学 一五—四 大日本図書株式会社

1 時文雑談 ＊一—六 趣味 四—四 易風社

1 英文学の健全なりといふ意義 二六—三一 早稲田文学 四一 東京堂書店

1 現代衣食住の大勢 五〇—五六 女学世界 九—五 博文館

1 非論理 二八—三二 女子文壇 五—五 女子文壇社

1 武士的と平民的（「作中に現れたる女性」ノウチ）〔アンケート回答〕 一七 女子文壇 五—五 女子文壇社

15 無心にならうと努める（「歩く時のさまざま」ノウチ） 一〇一—一〇二 文章世界 四—五 博文館

25 **訳註近世英文学**ノウチ レベッカ敵の面前に立つ〔サッカレー原著の翻訳〕 有朋堂書店

25 蝸牛角上の争 六 読売新聞 合名会社日就社

五月

1 文壇玩具箱 六四—六八 趣味 四—五 久保中人 易風社

＊明治43年5月1日まで12回連載

1 ぐうたら先生〔小説〕 一—一〇 趣味 四—五 易風社

1 根底のある女の教育 四一—四六 女学世界 九—六 博文館

1 近代的の意義 一五五—一六六 新小説 一四—五 春陽堂

1 外国文学の流行と短篇物 三五—三七 新潮 一〇—五 新潮社

1 英文学の特質 四九—五四 明治評論 一二—五 明治評論社

1 オペラ其他〔談〕 七五—七七 演芸画報 三—五 演芸画報社

1 文学の光栄なり 一三九—一四二 太陽 一五—六 博文館

1 余の田園生活 一〇—一二 ハガキ文学 六—五 精美堂

9 高商問題に関して蘇峰先生の教を乞ふ 読売新聞

六月

1 文壇玩具箱　趣味　四―六　合名会社日就社

1 所感一二　＊二八―三四　久保中人　易風社

五八―五九　新潮　一〇―六　新潮社

1 東西一致の点　美術之日本　一―二　審美書院

一五―一九

七月

1 自然（「塵談」ノウチ）〔談〕　新小説　一四―七　春陽堂

二二五―二二七

1 田園生活〔G. Gissing の The Private papers of Henry Rye-croft / Spring の抄訳〕　趣味　四―七　易風社

＊三一―四四

15 好きな性格ノウチ　秀才文壇　九―一五　文光堂

四三

18 トム・ジョーンス〔Henry Fielding の原著の翻訳〕　学鐙　一四―一（一三―七の誤りカ）　丸善株式会社

一―八

＊明治43年1月18日まで5回連載

22 二た昔前（一）　読売新聞　合名会社日就社

五

＊25日まで4回連載

23 二た昔前（二）　読売新聞　合名会社日就社

五

六

23 夏目漱石氏の文学評論を読む（一）（二）　東京二六新聞　二六新聞社

三

＊29日まで8回連載

24 二た昔前（三）　読売新聞　合名会社日就社

五

24 夏目漱石氏の文学評論を読む（三）　東京二六新聞　二六新聞社

三

25 二た昔前（四）　読売新聞　合名会社日就社

五

25 夏目漱石氏の文学評論を読む（四）　東京二六新聞　二六新聞社

三

25 貧之論　読売新聞　合名会社日就社

六

27 夏目漱石氏の文学評論を読む（五）　東京二六新聞　二六新聞社

三

28 夏目漱石氏の文学評論を読む（六）（七）　東京二六新聞　二六新聞社

三

29 夏目漱石氏の文学評論を読む（八）　東京二六新聞　二六新聞社

四

八月

1 **二葉亭四迷**（坪内逍遥・内田魯庵編）ノウチ　易風社
長谷川氏を懐ふ　下の四〇―四五
1 村医者（ツルゲーネフ原著「猟人日記」の一節の翻訳）　趣味　四―八
＊一―一八　易風社
1 文壇玩具箱　趣味　四―八
＊二四―二九　久保中人　易風社
1 招涼珠のノウチ〔アンケート回答〕　新小説　一四―八
＊四〇―四一　春陽堂
5 「猟夫日記」所感〔談〕　東京毎日新聞
一　東京毎日新聞社
5 政教一途論　現代　一―四
一七―二二　現代社
10 天然美、人工美（「都会の夏と田舎の夏」ノウチ）　中学世界　一二―一〇
二九―三〇　博文館
13 革新の意義（一）　東京毎日新聞
一　東京毎日新聞社
＊3回連載
14 革新の意義（二）　東京毎日新聞
一　東京毎日新聞社
15 革新の意義（三）　東京毎日新聞
一　東京毎日新聞社
15 原稿料催促状　読売新聞

七　合名会社日就社
18 トム・ジョーンス〔翻訳〕　学鐙　一三―八
一―九　丸善株式会社

九月
1 森先生（「現代人物評論　森鷗外論」ノウチ）　中央公論　二四―九
八七―八八　反省社
1 女学の反面　女学世界　九―一一
八四―八八　博文館
1 文壇玩具箱　趣味　四―九
＊一二―一八　久保中人　易風社
16 **猟人日記**（敲戸会同人と共訳）〔ツルゲーネフの原著の翻訳〕　昭文堂
＊版型同一で近江屋書店版、成光館版あり。
22 幽霊の出る講座（一）　国民新聞　国民新聞社
一
23 幽霊の出る講座（二）　国民新聞　国民新聞社
一

一〇月
1 政治と近代思想　太陽　一五―一三　博文館
一三一―一三五
1 文壇玩具箱　趣味　四―一〇
＊一六―二一　久保中人　易風社
9 私の感想（附）嗜好の果物〉　読売新聞　合名会社日就社
五　文章世界　四―一三　博文館
15 語学の精確と原作の味ひ
二一―二三

18　トム、ジョーンス〔翻訳〕　学鐙　一三―一〇
一二―二〇　丸善株式会社
30　文学者の見たる伊藤公の死〔談〕　東京二六新聞
四　二六新聞社
一一月1　文学的教育の基礎如何（「早稲田文士の長短」ノウチ）〔談〕
太陽　一五―一四　博文館
一三一―一三二
1　文壇玩具箱　趣味　四―一一　易風社
＊一三―二一　久保中人　易風社
15　二度の試験に失敗（「余の二十歳前後」ノウチ）
文章世界　四―一五　博文館
九八―一〇〇
20　芸術は人生の為めの芸術なり　雑誌の雑誌　一―五　雑誌の雑誌社
二〇―二一
28　郊外の一興　読売新聞　合名会社日就社
七
一二月1　本年中尤も興味を引きし（一）小説脚本（二）絵画（三）演劇
〔アンケート回答〕
趣味　四―一二　易風社
三六―三七
1　文壇玩具箱　趣味　四―一二　易風社
＊一―六
2　官学私学及文学（上）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所
三
3　官学私学及文学（中）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所
三
4　官学私学及文学（下）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所
三
8　文学と政治の進歩　国民新聞　国民新聞社
一
9　文学と政治の進歩（二）　国民新聞　国民新聞社
一
18　トム、ジョーンス〔翻訳〕　学鐙　一三―一二　丸善株式会社
一―五
19　動物世界　読売新聞　合名会社日就社
六
28　自然の人と社会の人（上）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所
三
29　自然の人と社会の人（下）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所
八

明治四三年

一月1　徳田秋江君（「文壇相互評」ノウチ）　趣味　五―一　易風社
二二―二四
1　文壇玩具箱　趣味　五―一　易風社
四一―四六
1　銭湯日記　久保中人　易風社
太陽　一六―一
二〇五―二一〇
18　トム、ジョーンス〔翻訳〕　学鐙　一四―一　博文館

一―七　丸善株式会社

27　薩摩汁　三　東京朝日新聞　愚翁　東京朝日新聞発行所

二月

1　文壇玩具箱　＊一―七　趣味　五―二　易風社

15　能の面白味、其他　四―六　秀才文壇　一〇―四　文光堂

20　**比較文学史**（フレデリック・ローリエの原著の翻訳）　大日本文明協会

＊序文に戸川秋骨訳の旨を記す

22　「べからず」　三　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所

22　自然主義文学の範囲　一　国民新聞　国民新聞社

24　自然主義文学の範囲（二）　一　国民新聞　国民新聞社

三月

1　文壇玩具箱　一四―二〇　趣味　五―三　久保中人　易風社

四月

1　文壇玩具箱　六一―六七　趣味　五―四　久保中人　易風社

1　実験告白及び想像の文学　一五七―一六四　新小説　一五―四　春陽堂

14　さつま汁（上）　三　東京朝日新聞　愚翁　東京朝日新聞発行所

16　さつま汁（下）　三　東京朝日新聞　愚翁　東京朝日新聞発行所

五月

1　文壇玩具箱　一二〇―一二一　趣味　五―五　久保中人　易風社

20　大学予科の試験（「名士の試験物語」ノウチ）　中学世界　一三―四　博文館

15　大いなる未成品（「東京の地と東京の女」ノウチ）　八―一六　女子文壇　六―七　女子文壇社

26　郊外の文学　八―九　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所

六月

1　文壇玩具箱　三　趣味　五―六　久保中人　易風社

1　郊外日記　一五―二一　太陽　一六―八　博文館

七月

1　文壇玩具箱　一九六―二〇一　趣味　五―七　久保中人　易風社

1　夏目漱石論ノウチ（談）　＊二五―三〇　新潮　一三―一　新潮社

1　江戸ッ子の顔　二一―一八　太陽　一六―一〇　博文館

1　群雄割拠の文壇（「文壇の現況」ノウチ）（談）　二〇五―二〇八　太陽　一六―一〇　博文館

7　芸術的作物の要件（上）　九七―九八　東京朝日新聞

三　東京朝日新聞発行所

8　芸術的作物の要件（下）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所　三

15　江戸ッ子と江戸の文学　あふひ　三　葵文会　二五―二六

八月

1　嶋崎藤村論ノウチ〔談〕　新潮　一三―二　新潮社　二―一八

5　英文学研究〈英文学史の選択〉　英語世界　四―九　博文館　五―六

＊大正2年5月1日まで31回連載

九月

5　英文学研究〈可笑味の英文学〉　英語世界　四―一〇　博文館　五―八

22　誤られたる現代の文学？（上）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所　三

23　誤られたる現代の文学？（下）　東京朝日新聞　東京朝日新聞発行所　三

一〇月

2　読書の回想　読売新聞　合名会社日就社　九

5　英文学研究〈可笑味の英文学（二）〉　英語世界　四―一二　博文館　三八―四〇

8　銅像論（一）　国民新聞　国民新聞社　一

9　銅像論（二）　国民新聞　国民新聞社　一

15　ギッシングの文章（「私の好きな文章」ノウチ）　文章世界　五―一三　博文館　五五―五七

一一月

1　英文学研究〈可笑味の英文学〉　英語世界　四―一三　博文館　六―八

5　猫の道徳並に生欲　無尽燈　一五―一一　無尽燈社　九九―一〇六

＊目次表記は「猫の道徳並に性欲」

20　文学の意義　中学世界　一三―一五　博文館　六―七

一二月

1　英文学研究〈可笑味の英文学―チャールズ・ラム―〉　英語世界　四―一四　博文館　一一―一三

1　猫は食を争はぬ動物　新公論　二五―一二　新公論社　六九

明治四四年

一月

1　英文学研究〈倫敦郊外の文学〉　英語世界　五―一　博文館　二六―二七

1　文壇亥歳予想記（一）　国民新聞　国民新聞社　一

3　文壇亥歳予想記（二）　国民新聞　国民新聞社　一

15　英国現代の一流批評家　読売新聞　合名会社日就社　六

二月 1 英吉利文学所感 三田文学 二―二
一七―二九 三田文学会

1 英文学研究〈英吉利の田園文学（ギッシング）〉
英語世界 五―二 博文館
三三―三六

1 米国の美人と独仏の美人 美人画報 二―二
九―一一 トーア社

15 エマーソン論文集上巻〔翻訳〕 玄黄社
歴史論（History）、自恃論（Self-Reliance）、報償論（Compensation）、霊法論（Spiritual Laws）、恋愛論（Love）、友情論（Friendship）、細慮論（Prudence）、勇壮論（Heroism）、大霊論（The Over-Soul）、円環論（Circles）、智力論（Intellect）、芸術論（Art）

三月 1 英文学研究〈英吉利の田園文学〉 英語世界 五―三
一七―一九 博文館

19 笑のなき時代 読売新聞
六 合名会社日就社

四月 1 英文学研究〈ジェッフェリーズ〉 英語世界 五―五
二八―三〇 博文館

五月 1 英文学研究〈ミツトフオード女史〉
英語世界 五―六
二〇―二二 博文館

1 恋愛は生存競争に屈伏する 婦人くらぶ 四―五
一八― 紫明社

＊「婦人くらぶ」総目次による。正確な頁数は不明

六月 1 英文学研究〈紀行文 アーサーシモンス氏〉
英語世界 五―七
一〇―一二 博文館

1 文芸委員会私見（「文芸委員会の真価如何」ノウチ）
中央公論 二六―六
八六―九〇 反省社

七月 1 英文学研究〈紀行文 アディントン・サイモンズ〉
英語世界 五―八
二三―二四 博文館

30 謡曲の「是界」と「失楽園」の悪魔 国民新聞
一 国民新聞社

八月 1 謡曲の「是界」と「失楽園」の悪魔（二） 国民新聞
一 国民新聞社

1 英文学研究〈紀行文 サイモンズ氏〉
英語世界 五―九
五―七 博文館

一〇月 1 英国に於ける自然文学 文章世界 六―一三
三〇―三一 博文館

一一月 1 外国文芸の影響 新潮 一五―五
七五―七七 新潮社

1 英文学研究〈紀行文 ステイヴンソン〉
英語世界 五―一三
三二―三五 博文館

一二月 1 自然主義から耽美主義へ〔談〕 早稲田文学 七三 二一—二三 東京堂書店

1 英文学研究〈紀行文 ステイヴンソン〉 英語世界 五—一四 三六—三八 博文館

10 銀座通り 読売新聞 七 合名会社日就社

10 形式美の底に潜める力 能楽 九—一二 三八—四一 能楽館

明治四五年

一月 1 英文学研究〈政治家の文学〉 英語世界 六—一 五—六 博文館

1 当座帳〔随筆〕 三田文学 三—一 二五八—二六五 白鼠 三田文学会

＊当該号の消息欄、目次の執筆者名、続く2月、3月号の内容から「白鼠」は秋骨の筆名であると推測する。3月1日まで3回連載

10 **エマーソン論文集下巻** 玄黄社

詩人論（The Poet）、経験論（Experience）、人格論（Character）、作法論（Manners）、進物論（Gifts）、自然論（Nature）、政治論（Politics）、名目論者及実在論者（Nominalist and Realist）、新英州之改革者（New England Reformers）

二月 1 英文学研究〈政治家の文学 ジョン・モーレー卿〉 英語世界 六—二 三二—三四 博文館

1 当座帳〔随筆〕 三田文学 三—二 一四九—一五六 白鼠 三田文学会

三月 1 英文学研究〈フレデリック・ハリソン〉 英語世界 六—三 二一—二四 博文館

1 当座帳〔随筆〕 三田文学 三—三 二四二—二五〇 白鼠 三田文学会

24 影のない人 読売新聞 六 合名会社日就社

四月 1 英文学研究〈歴史文学〉 英語世界 六—五 一九—二〇 博文館

11 面白い作物 やまと新聞 一 やまと新聞松下合資会社

五月 1 英文学研究〈歴史文学 フルード〉 英語世界 六—六 五—七 博文館

1 有害無益のもの（「予が文芸委員ならば？」ノウチ） 新潮 一六—五 五六 新潮社

六月 1 英文学研究〈歴史文学 フルード〉 英語世界 六—七 五—七 博文館

30 **万年筆の印象と図解カタログ**ノウチ 丸善株式会社

二万三千哩の万年筆 六—九

七月 1 英文学研究〈歴史文学 フルード（続）〉 英語世界 六―八 博文館 五―六

10 英文雑誌と文学 英語世界 六―九（増刊） 博文館 二八―三〇

八月 1 英文学研究〈歴史文学 グリーン／エリザベスとメリー〉 英語世界 六―一〇 博文館 一三―一四

1 都会と田園とノウチ〔談〕 早稲田文学 八一 東京堂書店 三三―三五

大正元年

九月 1 英文学研究〈歴史文学 グリーン／エリザベスとメリー〉 英語世界 六―一一 博文館 二一―二二

1 両隣 ホトトギス 一五―一二 ほとゝぎす発行所 七七―八五

一〇月 1 英文学研究〈伝記文学〉 英語世界 六―一二 博文館 二八―三〇

一一月 1 英文学研究〈伝記文学 ミルの自叙伝〉 英語世界 六―一三 博文館 一九―二一

1 記憶すべき事跡と注目に値すべき奇観〔「明治の文壇及び劇壇に於て最も偉大と認めたる人物事業作品」ノウチ〕 新潮 一七―五 新潮社 八一

1 和洋趣味雑感 趣味 六―五 趣味社 二五―二七

一二月 1 英文学研究〈伝記文学 ミルの自叙伝〉 英語世界 六―一四 博文館 九―一一

大正二年

一月 1 英文学研究〈現代の英詩〉 英語世界 七―一 博文館 二一―二三

二月 1 英文学研究〈現代の英詩 アーサー・シモンス氏〉 英語世界 七―二 博文館 一一―一三

1 演劇素人観 演芸画報 七―二 演芸画報社 五二―五五

三月 1 英文学研究〈現代の英詩 アーサー・シモンス氏〉 英語世界 七―三 博文館 一〇―一二

3 **近代思想界の変遷**〔Hector Macpherson の翻訳〕 戸川明三 大日本文明協会事務所

四月 8 文芸の鑑賞 読売新聞 合名会社日就社 五

五月 1 英文学研究〈宗教文学〉 英語世界 七―六

三二―三四　博文館

1　翻訳劇上場問題　大正演芸　一―五　大正演芸社
三七―三九

六月　2　植民地の生活と思想の自由　朝鮮公論　一―三　朝鮮公論社
五四―五五

七月　15　**そのまゝの記**（随筆集）　籾山書店
凡人生活（引うつり、鶏自慢、猫の俳味、桜を切る人、坐ながらの避暑、移民の三種、金二銭五厘、日本唯一の社交場、悪い事は出来ねえもので、貧と恋・冷と熱、愚劣な動物、最も幸福なる犬、郊外一日の行事、再び鶏自慢、縹致と財産、場末、霜の朝の戸山の原、春の大久保村（躑躅の時節、村芝居、村の交際、清浄な郊外）、雑司谷の芋団子、謡曲の会、学校通ひ、郊外の住者、銀座通り、二た昔前、丸善回顧、電車哲学、貧乏論、郊外日記、銭湯日記、ぐうたら先生、金魚

八月　1　批評家と作家と　文章世界　八―一〇　博文館
六六―六七

10　二百号記念催能について（二）　ホトトギス　一六―六
四七　ほと、ぎす発行所

13　**慶應義塾　東京講演集**ノウチ　慶應義塾出版局
文芸の鑑賞　一―三二

九月　1　一家言――宗教対芸術―ノウチ　六合雑誌　三三―九　統一基督教弘道会
三五―三六

一一月15　**現代文芸叢書第三十一編〈オスカア・ワイルド〉**（和気律次郎訳）ノウチ　春陽堂
嫌な心持のするワイルド（序文）　九―一四

大正三年

二月　1　パリの島崎藤村君に　塔　二―二
一―九　塔社

8　最近の文壇　読売新聞
六　合名会社日就社

四月　23　社会と文学　読売新聞
四　合名会社日就社

五月　1　文学と思想と　読売新聞
四　合名会社日就社

4　ダントンの「エイルヰン」　読売新聞
四　合名会社日就社

七月　1　英文学の現況　文章研究録　七
一一―一五　目黒書店

八月　1　如是観　能楽　三―八
一八―二〇　能楽発行所

9　正面描写と裏面描写　読売新聞
四　合名会社日就社

15　趣味と好尚ノウチ　文章世界　九―九（臨増）
一〇八―一〇九　博文館

15　**哀史　上巻（泰西名著文庫第参冊）**
（ヴィクトル・ユーゴーの原著、レ・ミゼラブルの翻訳）　国民文庫刊行会

15　英吉利の自然小品　文章世界　九―九
四〇―四四　博文館

17　会遊の涼味ノウチ　読売新聞

五　合名会社日就社

一一月15　**哀史　中巻（泰西名著文庫第参冊）**　国民文庫刊行会

＊『三田國文』四十二号「戸川秋骨年譜稿」で、「大正三年十一月『哀史』下巻を上梓」と記載したが、本記述に訂正。

大正四年

一月　18　余材抄〈少年ウォッツ・ダントンの事〉　学鐙　一九―二　八―一三　丸善株式会社

＊4月20日まで3回連載

二月　10　**比較文学史**（大日本文明協会訳）　文明書院

＊明治43年2月の大日本文明協会版の再刊、版型同一。序文に戸川秋骨訳の旨を記す

三月　1　淡彩的芸術　三田評論　二一二　二八―三三　三田評論発行所

1　大乱に際して　一八七―一九三　三田文学　六―三　三田文学会

20　余材抄　学鐙　一九―六　一―七　丸善株式会社

四月　20　余材抄　学鐙　一九―八　一―五　丸善株式会社

五月　1　大乱に際して〈両交戦国の文学〉　三田文学　六―五　一一三―一二〇　三田文学会

12　**英文学精講**　東亜堂書房

英文学史の選択、可笑味の英文学（I. G. K. Chesterton, II. Jerome K. Jerome, III. Leigh Hunt, IV. Charles Lamb）、田園文学（I. 緒論、II. Gissing, III. Richard Jefferies, Miss Mitford）、紀行文（I. Arthur Symons, II. Addington Symonds, Stevenson）、政治家の文学（I. 緒論、II. John Morley, III. Frederic Harrison）、歴史文学（I. 緒論、II. Froude, III. Green）、伝記文学（I. 緒論、II. Mill's Autobiography, III. Cardinal Newman）、文芸評論（I. 緒論、II. Walter Pater）、小説（I. Theodore Watts-Dunton）、アイルランドの運動（I. William Butler Yeats, II. George Moore）、雑文学（I. Oscar Wilde, II. Andre W. Lang）、イギリスの雑誌、イギリスの小説二十五種

29　**エイルキン物語（英国近代傑作集　上巻）**（翻訳）　国民文庫刊行会

七月　1　夏期休暇存廃に就てノウチ〔アンケート回答〕　中学世界　一八―九　一八七　博文館

14　この夏はノウチ　読売新聞　六　合名会社日就社

八月　1　30　nen mae no omoide　RÔMAJI　X NO MAKI　DAI 8 GO　七　Togawa Shûkotsu

1　大乱に際して　ローマ字ひろめ会　三田文学　六―八　一四一―一五〇　三田文学会

15　英文学と政治思想　国民講壇　第五号　大学普及会

＊原本未確認。記載は大正4年8月15日付「東京日日新聞」一面に掲載されている『国民講壇』第5号の目次による。ページは不明

九月　3　**The Private papers of Henry Ryecroft**〔George Gissing の原著の註解〕　阿蘭陀書房

10　**先覚　全**〔D. S. Merezhkovshii の原著の翻訳〕　国民文庫刊行会

25　**先覚（世界名作大観　第II部附録　第九巻）**　国民文庫刊行会

＊大正4年9月10日版の改版、版型は異なる。

一一月15　**哀史　下巻（泰西名著文庫第参冊）**　国民文庫刊行会

大正五年

一月　1　見当がつきかねる（「文学者とローマ字」ノウチ）　ＲＯＭＡＪＩ　一一―一　ローマ字ひろめ会

一八―一九

二月　1　芸術欲と所謂生活難　三田評論　二一三　三田評論発行所

二六―二九

10　**十日物語（泰西名著文庫）**〔ボッカチオの原著の翻訳〕　国民文庫刊行会

四月　1　アナトオル・フランスの思想　三田文学　七―四　三田文学会

一五―三一

六月　1　発売禁止の恐れなき文芸の価値　三田文学　七―六　三田文学会

三六―四五

七月　1　翻訳不可能論　三田文学　七―七　三田文学会

一六―二七

20　**翻訳の仕方と名家翻訳振**（東草水編）ノウチ　実業之日本社

断崖の一少年（『エイルキン物語』の一節の翻訳）

二六三―二七八

八月　15　上田君の訃報に接して　英語青年　三五―一〇　英語青年社

三一二

九月　1　故上田敏博士　英語界　三―九　英語界社

五六九（通巻）

20　文章即ち人生　日本及日本人　六八九　政教社

四四九

大正六年

一月　2　夏目漱石氏と英文学　新小説　二二―二（臨時号・文豪夏目漱石）　春陽堂

六四―七〇

三月　1　芸術私言　三田評論　二三六　三田評論発行所

二九―三五

18　**エマアソン全集第八巻（人生論　全）**〔翻訳〕　国民文庫刊行会

エマアソン小伝、宿命（Fate）、権力（Power）、富力（Wealth）、修養（Culture）、行状（Behavior）、礼拝（Worship）、随想余録（Considerations by the Way）、美感（Beauty）、幻想（Illusions）

四月　20　十日物語に就て（上）　学鐙　二一―八　丸善株式会社

一―九

＊6月20日まで3回連載

五月　20　十日物語に就て（中）　学鐙　二一―一〇　丸善株式会社

一―五

29 **エマアソン全集第四巻（社交及孤独）**〔翻訳〕 国民文庫刊行会
社交及孤独（Society and Solitude）、文化（Civilization）、芸術（Art）、能弁（Eloquent）、家庭生活（Domestic Life）、農業（Farming）、事業と日々（Works and Days）、書物（Books）、倶楽部（Clubs）、勇気（Courage）、成功（Success）、老年（Old Age）、

六月 1 外人の日本能の研究 新小説 二二一―七 春陽堂 九三―一〇一

1 官憲国の文学 三田評論 二三九 三田評論発行所 七―一〇

20 十日物語に就て（下） 学鐙 二一―一二 丸善株式会社 八―一四

七月 15 都会生活者の採り容れ得べき自然生活味 中央公論 三二―八（臨時増刊） 中央公論社 一四一

九月 25 **エマアソン論文選集** 戸川明三 阿蘭陀書店
神怪説、不断の力、人格論、最高級、文人論、学者論、戦争論、田園生活

30 **エマアソン全集第七巻（自然論・演説及講演）**〔翻訳〕 国民文庫刊行会
小序、序言、第一章・自然（Nature）、第二章・便利（Commodity）、第三章・美（Beauty）、第四章・言語（Language）、第五章・訓練（Discipline）、第六章・観念（Idealism）、第七章・心霊（Spirit）、第八章・予望（Prospects）、アメリカの学（The American Scholer）、演説（Address）、文学上の倫理学（Literary Ethics）、自然の法式（The Method of Nature）、改革者としての人（Man the Reforme）、時事講話（Lecture on the Times）、保守家（The Conservative）、超絶論者（The Transcendentalist）、若き亜米利加人（The Young American）

一一月 1 素人の建築観 三田評論 二四四 三田評論発行所 一七―二〇

一二月 1 冬の朝 文明 二一 籾山書店 表紙裏（目次下）

30 **エマアソン全集第六巻（文学及社会）**〔翻訳〕 国民文庫刊行会
詩と想像力（Poetry and Imagination）、社会の目的（Social Aims）、雄弁（Eloquence）、資力（Resources）、滑稽（The Comics）、引用と原作（Quotation Originality）、教化の進歩（Progress of Culture）、ペルシヤの詩（Persian Poetry）、霊感（Inspiration）、偉大（Greatness）、霊魂不滅（Immortality）

大正七年

一月 1 ポンテオ・ピラト 三田文学 九―一 三田文学会 一〇九―一一五

1 野口君の日本詩歌無声論 帝国文学 二四―一 ミツワ文庫発行所 二一四―二一八

1 佐々君の追想 演芸画報 五―一 演芸倶楽部 一九三―一九五

1 習慣に一任せる英吉利 中外 二―一 中外社 二七一―二七六

＊英語文学を評すノウチ　English Times　英語精習社

＊原本未確認。記載内容は『英語青年』（大正7年2月1日発行）掲載の「新聞雑誌英学一覧」による。正確な日付、巻号数不明

三月　1　故プレイフェヤア教授の追憶　三田文学　九―三　一二一―一二六　三田文学会

四月　1　文章を学ぶ青年に与ふる語（「座右銘」ノウチ）　中央文学　二―四（一周年記念号付録）　三―四　戸川明三　春陽堂

15　二十年前の回顧　英語青年　三九―二　五六　英語青年社

15　**オリヴァ・クロンウエル（英傑伝叢書第四編）**　実業之日本社

〔トマス・カアライル「クロンウェル書翰並に演説」の抄訳〕

六月　1　記憶を辿りて　三田文学　九―六　一〇八―一一四　三田文学会

八月　10　武蔵野会〔談〕　読売新聞　七

九月　10　**猟人日記**〔ツルゲーネフの原著の翻訳〕　読売新聞社

＊初版の改版。

18　若からんと欲する心　国民新聞　三

19　英吉利文学所感　三田新聞　四　三田新聞学会

一〇月1　汚い美術　三田評論　二五五　二〇―二四　三田評論発行所

一一月23　**たけくらべ**（樋口邦子編）ノウチ　博文館

一葉女史の追憶　四八―五八

大正八年

一月　1　霊魂不滅論〔エマーソンの翻訳〕　英語文学　三―一　一四―一九　緑葉社

三月　1　雪の窓にて　三田文学　一〇―三　七九―八六　三田文学会

五月　1　デモクラシイの涙　三田評論　二六二　五三―五七　三田評論発行所

六月　1　「桜の実の熟する時」の事　三田文学　一〇―六　四三―五二　三田文学会

5　チョン髷の回顧　英語文学　三―九　一八―二一　緑葉社

一〇月1　ユニオン第四読本　英語界　六―一〇　三―五　英語界社

一二月1　ノオト・ブックより　英語文学　三―一一

東海岸の日没、秋天に囀る雲雀、キングレエクの痛言、ジョンソンの警句　一六―一九　緑葉社

大正九年

一月　1　東海岸の日没　英語界　七―一

二七　英語界社

二月　10　ノオト・ブックより　英語文学　四―二
デイ・クインジイ雑談、欧州人の髪の黒白、グラツドストオンのアメリカ文明論　一八―二一　緑葉社

三月　1　米の飯と国風　三田評論　二七二　二三―二六　三田評論発行所

21　英文和訳は　般時事問題を＝難句は出さぬ〔談〕　三田新聞　三　三田新聞学会

＊表題の表記は、「般」の前が一時分空白になっている

25　**田園の春**〔Gissing の The Private papers of Henry Ryecroft の訳注〕　アルス

＊アルス英文叢書。大正4年の阿蘭陀書房版と版型同一

四月　1　クラットストオンの亜米利加文明論　英語界　七―四　英語界社　一二四

＊表題表記は原本の表記のママ

七月　5　ノオト・ブックより　英語文学　四―七
ピクキックと和合人、煙草を飲む事、耳が痛い、鶏口となるも牛後となる勿れ　三七―三九　緑葉社

31　避暑地への覚書ノウチ　三田新聞　二　三田新聞学会

八月　1　最近の英吉利文芸（一）（「最近に於ける欧州文壇の趨勢」ノウチ）　五七―六〇　電気文芸社

1　煙草を飲むこと　英語界　七―八　英語界社　二五三

1　無駄話の無駄話　三田文学　一一―八　三田文学会　一一―一七

一〇月15　**猟人日記**〔ツルゲーネフの原著の一節「Byezhin Prairie」の訳注〕　アルス

＊アルス英文叢書

20　お能拝観の記　喜多　一―二　十四―十七　愚鈍坊述　秋生訳註　わんや出版部

＊昭和6年1月15日発行『能楽礼讃』に収録

一一月18　お能拝観の記　喜多　一―三　一三―二〇　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

大正一〇年

一月　1　人を喰つた夢想郷　三田評論　二八二　二六―三五　三田評論発行所

8　お能拝観の記　喜多　二―一　九―一五　愚鈍坊述　秋生訳註　わんや出版部

三月　1　気分情調の芸術　喜多　二―三　一三―一六　愚鈍坊述　秋生訳註

四月 15 **怪談**（ラフカディオ・ハーンの原著の訳注）　わんや出版部　一二―一四

＊アルス英文叢書　アルス

23 **文豪夏目漱石**ノウチ　夏目漱石氏と英文学　二六三―二七三　春陽堂

26 緘黙の音楽、静止の舞踊　九―一四　喜多　二―四　わんや出版部

26 お能拝観の記　二四―二六　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

五月 4 古い心新しい心　わたしの嫌いな武士道（上）　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

八　古い心新しい心　わたしの嫌いな武士道（中）　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

5 古い心新しい心　わたしの嫌いな武士道（下）　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

八

6 古い心新しい心　わたしの嫌いな武士道（下）　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

八

15 お能拝観の記　一一―一四　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

23 龍騎兵の芸術（談）　四　三田新聞　三田新聞学会

六月 10 実君へ　喜多　二―六　秋生　わんや出版部

七月 20 お能拝観の記　一四―一七　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

八月 1 私の学校で教へられた英文学　三五―三七　英語文学　五―八　緑葉社

15 能とオペラとの字義　一〇―一四　喜多　二―八　わんや出版部

九月 1 お能拝観の記　二四―二七　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

一〇月 1 お能拝観の記　九―一二　喜多　二―一〇　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

1 ヘルン先生の講義　三一七　英語界　八―一〇　英語界社

一一月 1 お能拝観の記　一六―二〇　喜多　二―一一　愚鈍坊述　秋生訳注　わんや出版部

一二月 20 喜多流と私との縁故　七―一一　喜多　二―一二　わんや出版部

大正一一年

一月 1 乞食詩人キリアム・デヴイス（翻訳を含む）　明星（第二次）一―三

三七―四八　明星発行所

15　喜多流家元演じる「松風」のスケッチ　喜多　三―一
戸川　生　わんや出版部
（写真参照）

四月　1　再び乞食詩人を（翻訳を含む）　明星（第二次）一―六
六九―九〇　明星発行所

1　イギリス思想影響の一端（「英国文化の渡来とその回顧」ノウチ）
新小説　二七―四
七〇―九四　春陽堂

五月　1　ミルの詩人論　三田評論　二九八
＊一―九　三田評論発行所

1　猩々美　喜多　三―五
五―七　愚鈍坊　わんや雑誌部

六月　1　お能拝観の記　喜多　三―六
一六―二〇　愚鈍坊述　わんや出版部

七月　1　私のお能を観る心　喜多　三―七
二―四　秋生　わんや出版部

5　**鋸山奇談**（エドガー・アラン・ポーの原著の訳注）　アルス
＊アルス英文叢書

八月　1　古い追想から（「人」及び「芸術家」としての鷗外博士」ノウチ）
新小説二七―九（臨時増刊・文豪鷗外森林太郎）
二九―三一　春陽堂

1　鷗外先生の追憶　三田文学　一三―八（鷗外先生追悼号）
四五―五〇　三田文学会

[redacted]

1　文学の宝庫　喜多　三―八
4　英国に於ける自然派の文学（一）やまと新聞　秋生　三―五
5　英国に於ける自然派の文学（二）やまと新聞松下合資会社　一
九月
1　文鳥　やまと新聞松下合資会社　一
18　英吉利の詩壇　三田新聞　一一五―一二四
一〇月1　古今東西　三田評論学会　四
一二月1　ドン・ジュアン号の沈没の前後〔翻訳〕　三田評論発行所　三五―三九
詩と音楽　アルス　一―四　五八―六六
1　シエレエ雑談　明星（第二次）二―七　一七―二二
1　大藤村講演会の一幕　三田文学　一三―一二　六三―七二
1　文学者の国籍　心の花　二六―一二（一葉女史記念号）　竹柏会出版部　七―一〇

大正一二年

一月　1　ガストロノミイ　三田文学　一四―一　二四―三二
8　**文化の聖書**〔H・G・ウェルス原著、相曾博と共訳〕　アルス　三田文学会
第一　人類の未来、第二　世界国家の計画、第三　愛国心の拡大、第四　文化の聖書（第一部）、第五　文化の聖書（第二部）
二月
1　死　三田文学　一四―二　三七―四六　三田文学会
1　平和な楽園を建設すべく攪乱されたる文明を救済せよ――ウェルズ著『文化の聖書』　アルス出版月報　一
三月
1　弱志　三田文学　一四―三　七三―八五　三田文学会
四月
1　外国での能の研究　喜多　復刊一　四―五　喜多刊行会
五月
1　電車道に沿ふて〈虎の門から〉　三田文学　一四―五　四九―五九　三田文学会
1　現実と迷想　三田評論　三〇一　一―六　三田評論発行所
1　徒歩　明星（第二次）三―五　三五―四二　明星発行所
1　品紫評紅録（一）〈通小町（上）〉〔合評、談〕　喜多　復刊二　一六―二〇　喜多刊行会
＊昭和3年9月7日まで51回連載のうち33回掲出
19　古典の外国語訳（一）　東京日日新聞　九　東京日日新聞発行所

＊3回連載

20 古典の外国語訳（二） 九 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

21 古典の外国語訳（三） 九 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

六月 1 品紫評紅録（二）〈通小町（下）〉〔合評、談〕 一九―二二 喜多 復刊三 喜多刊行会

11 **幻の人**〔R. L. B. Stevenson の原著 Will o' The Mill の訳注〕 アルス

＊アルス英文叢書

七月 1 明治時代生活と今昔の諸相〈三十余年前の学校生活〉 四〇―五三 新小説 二八―七 春陽堂

1 ケーベル先生 二六―三三 三田文学 一四―七 三田文学会

1 謡本などは無いものにしたら 一五―一六 喜多 復刊四 喜多刊行会

八月 1 自然に節約は無い〈岡野知十さんに〉 二―六 郊外 五 郊外社

1 柏樹先生 二七―三〇 三田評論 三一三 三田評論発行所

1 読書 四一―四七 明星（第二次）四―二 明星発行所

1 知己先輩（戸山の原の立話、天金の二階、三越前の停車場、披露会の祝賀会） 六三―七四 三田文学 一四―八 三田文学会

1 品紫評紅録（四）〈清経（上）〉〔合評、談〕 三一―三四 喜多 復刊五 喜多刊行会

一〇月 1 田舎の先生 三〇―三一 喜多 復刊六 喜多刊行会

一二月 5 火にも焼けぬ芸術 四―五 喜多 復刊九 喜多刊行会

大正一三年

一月 1 他界の大杉君に送る書 ＊八二―八七 随筆 二―一 随筆発行所

1 ミネルヴアへ 七六―八四 三田文学 一五―一 三田文学会

1 謡曲の英訳 一九九―二〇一（通巻） 英語青年五〇―七 英語青年社

1 男性美の芸術 一五―一七 喜多 喜多刊行会

1 お能拝観 四―六 郊外 二―三 郊外社

二月 1 吾等は何処に何者を求むるか？ 喜多

一　喜多刊行会仮事務所

三月 1 舞台新築に就いての感想　喜多　一一―一三

四月 1 君ちゃん　喜多刊行会事務所　一一七―一二七

五月 1 至純狂熱の人　北村透谷君　三田文学　一五―四　三田文学会　三一―三五

1 月の世界及び日の世界　随筆　二―四　随筆社

＊一―一〇

1 フィオナ・マクレオッドより〔翻訳〕　三田評論　三二一　三田評論発行所

日光　一―二　日光社

七四―七六

13 **大英国民史　上（泰西名著歴史叢書六）**　国民図書株式会社

〔John Richard Green の原著の翻訳〕

23 バイロンの遺がいの前で（一）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）

＊5回連載

24 バイロンの遺がいの前で（二）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）

25 バイロンの遺がいの前で（三）　報知新聞　報知新聞社

一〇（夕刊）

26 バイロンの遺がいの前で（四）　報知新聞　報知新聞社

二

27 バイロンの遺がいの前で（五）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）

六月 1 別れ　九六―一〇四　三田文学　一五―六　三田文学会

1 回顧　喜多　喜多刊行会事務所

二三―二四

25 **文鳥**〔随筆集〕　奎運社

文鳥、ガストロノミイ、死、弱志、電車道に沿ふて、ケエベル先生、知己先輩、ミネルヴァへ、君ちゃん、大藤村講演会の一幕、両隣、読書、徒歩、三十余年前の学校生活、古今東西、柏樹先生、岡野知十さんに、玄米飯を喰はされて、ヘルン先生の孟宗藪に仮睡して、官憲国の文学、デモクラシイの涙、米の飯と国体、雪の窓にて、アナトオル・フランスと人権問題、ポンテオ・ピラト、並行線が会合する、至純狂熱の人北村透谷君、翻訳不可能論、漢字及び漢文

七月 6 看板の英語と中学の英語　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

九

11 東の端と西の端（一）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）

＊5回連載

12 東の端と西の端（二）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）

13 東の端と西の端（三）　報知新聞　報知新聞社

二

14 東の端と西の端（四）　報知新聞　報知新聞社

二

15 東の端と西の端（五）　報知新聞　報知新聞社

七（夕刊）　報知新聞社

八月　1　六平太氏の能　五九―六三　明星（第二次）五―三　明星発行所

九月　1　「鉢木」に就いての疑問　一四―一六　喜多

1　首括り綱渡り　六〇―六一　文芸春秋　二―八　文芸春秋社

26　その頃のこと（一）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

＊7回連載

27　その頃のこと（二）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

28　その頃のこと（三）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

29　その頃のこと（四）　二　報知新聞　報知新聞社

30　その頃のこと（五）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

一〇月　1　その頃のこと（六）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

1　卑怯者　六三―七一　三田文学　一五―一〇　三田文学会

1　品紫評紅録（十一）〈頼政（中）〉〔合評、談〕　九―一二　喜多　喜多刊行会事務所

2　その頃のこと（七）　七（夕刊）　報知新聞　報知新聞社

一一月　1　後藤さんの「道成寺」〈批評・感想（上）―（道成寺披露能）―〉ノウチ　一四―一五　喜多　喜多刊行会事務所

1　品紫評紅録（十二）〔合評、談〕　二〇―二二　喜多　喜多刊行会事務所

一二月　1　候の一語　一三　喜多　喜多刊行会事務所

1　英文学印象記を読んで〈平田禿木君に無駄話を送る〉　七九―九一　三田文学　一五―一二　三田文学会

大正一四年

一月　1　定命　一〇〇―一〇七　三田文学　一六―一　三田文学会

1　命の長からん事を　一五〇―一五三　明星（第二次）六―一　明星発行所

1　品紫評紅録（十四）〈富士太鼓（下）〉〔合評、談〕　喜多　喜多刊行会事務所

二月　1　国栖　八―一〇　喜多　喜多刊行会事務所

三月　1　品紫評紅録（十五）〈鞍馬天狗（上）〉〔合評、談〕　喜多

九―一四　喜多刊行会事務所

四月

1　品紫評紅録（十六）〈鞍馬天狗（下）〉〔合評、談〕　喜多　一一―一六　喜多刊行会事務所

9　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（一）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

＊11回連載

10　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（二）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

11　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（三）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

12　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（四）　報知新聞　（夕刊）七　報知新聞社

13　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（五）　報知新聞　二　報知新聞社

14　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（六）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

15　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（七）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

16　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（八）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

17　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（九）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

18　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（一〇）　報知新聞　（夕刊）一〇　報知新聞社

19　斎藤緑雨君とチャアルズ・ラム（一一）　報知新聞　（夕刊）七　報知新聞社

五月

1　強烈なる芸術　喜多　二―三　喜多刊行会事務所

1　品紫評紅録（十七）〈夜討曾我（上）〉〔合評、談〕　喜多　一七―二二　喜多刊行会事務所

六月

1　「ソクラテス」　文芸春秋　三―六　文芸春秋社

1　品紫評紅録（十八）〈夜討曾我（下）〉〔合評、談〕　喜多　一一―一四　喜多刊行会事務所

七月

1　品紫評紅録（十九）〈湯谷（上）〉〔合評、談〕　喜多

七―一二　喜多刊行会事務所

22　山室大佐の追憶　東京朝日新聞

五

25　**エイルキン物語（世界名作大観第六巻）**〔Watts-Dunton の原著の翻訳〕　東京朝日新聞社

＊大正4年5月版の改版　国民文庫刊行会

31　翻訳者の愚痴（一）　報知新聞

（夕刊）七　報知新聞社

＊5回連載

八月

1　翻訳者の愚痴（二）　報知新聞

（夕刊）七　報知新聞社

1　品紫評紅録（二十）〈湯谷（中）〉〔合評、談〕　喜多

一五―一八　喜多刊行会事務所

2　翻訳者の愚痴（三）　報知新聞

（夕刊）七　報知新聞社

3　（翻訳者の愚痴四）

＊3日の記事については原本確認出来ず

4　翻訳者の愚痴（五）　報知新聞

（夕刊）七　報知新聞社

20　平田禿木氏訳　カツパーフイルド（一）　時事新報

四　時事新報社

21　平田禿木氏訳　カツパーフイルド（一）　時事新報

四　時事新報社

九月

1　品紫評紅録（二十一）〈湯谷（下）〉〔合評、談〕　喜多

七―九　喜多刊行会事務所

18　**大英国民史　中（泰西名著歴史叢書　七）**　国民図書株式会社

一〇月

1　「思ひ出す人々」を読みて思ひ出した事　新小説　三〇―一〇

八〇―八三　春陽堂

12　**無敵艦隊**〔J. R. Green の The Armada の訳注〕　アルス

＊アルス英文叢書

19　精進行　明星（第二次）七―四

三―二〇　明星発行所

一一月

1　四疊半より　英語青年　五四―三

一三　英語青年社

1　品紫評紅録（二十二）〈調伏曾我〉〔合評、談〕　喜多

二一―二六　喜多刊行会事務所

10　古外套　成人　一―三

二五―二九　開発社

26　ヘルン先生　時事新報

四　時事新報社

＊3回連載

27　ヘルン先生　時事新報

四　時事新報社

28 ヘルン先生　四　時事新報　時事新報社

一二月 1 品紫評紅録（二十三）〈調伏曾我（下）〉〔合評、談〕　喜多　七―一二

1 洋画と西洋劇　一　喜多刊行会事務所

1 勧進帳と雨　七七―七九　アルスグラフ　一―一　アルス

1 人の呼び名　一五―一九　文芸春秋　三―一二　文芸春秋社

三田評論　三四〇　三田評論発行所

2 凡人崇拝（一）（夕刊）一二　報知新聞　報知新聞社

＊6回連載

3 凡人崇拝（二）（夕刊）一二　報知新聞　報知新聞社

4 凡人崇拝（三）（夕刊）一二　報知新聞　報知新聞社

6 凡人崇拝（四）（夕刊）一二　報知新聞　報知新聞社

7 凡人崇拝（五）一二　報知新聞　報知新聞社

8 凡人崇拝（六）（夕刊）一六　報知新聞　報知新聞社

大正一五年

一月 1 再び喜多六平太氏の道成寺を観る　新小説　三一―一　一七七―一八一　春陽堂

1 品紫評紅録（二十四）〈融（上）〉〔合評、談〕　喜多　一一―一四　喜多刊行会事務所

1 喜多先生感服録　一八―一九　喜多　喜多刊行会事務所

＊5月1日まで3回連載

1 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（一）〔翻訳〕　英語青年　五四―七　九　英語青年社

＊4月15日まで6回連載

15 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（二）〔翻訳〕　英語青年　五四―八　八　英語青年社

二月 1 諸名士の雑誌新年号観ノウチ〔アンケート回答〕　不同調　二―二　五九　不同調社

1 品紫評紅録（二十五）〈融（中）〉〔合評、談〕　喜多　七―一〇　喜多刊行会事務所

1 フランス革命とその先駆となつた詩人

三田評論　三四二　三田評論発行所

＊一―六

＊4月1日まで3回連載

7　笑　一八　週刊朝日　九―七　朝日新聞社

18　**凡人崇拝**〔随筆集〕　アルス

凡人崇拝、定命、別れ、卑怯者、古外套、ソクラテス、山室大佐の追憶、波打ち際に立ちて、その頃の事、「思ひ出す人々」を読みて思ひ出した事、翻訳者の愚痴、首括り綱渡り、小泉先生の旧居にて、石川さんの『煙草とパイプ』を読んで、自助論、人の呼び名、六平太氏の能、国栖、勧進帳と雨、東の端と西の端、二二ンが四でない事、非武士道論の悲哀、斎藤緑雨君とチヤアルズ・ラム、発売禁止の文芸、他界の大杉君に送る書、精進行

三月

1　リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（四）〔翻訳〕　英語青年　五四―一二　英語青年社

六

1　フランス革命と其の先駆となった詩人　三田評論　三四三　三田評論発行所

二一―二七

1　喜多先生感服録　喜多　喜多刊行会事務所

二三―二四

15　リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（四）〔翻訳〕　英語青年　五四―一二　英語青年社

六

四月

1　リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（五）〔翻訳〕　英語青年　五五―一　英語青年社

七

1　フランス革命と其の先駆となった詩人　三田評論　三四四　三田評論発行所

五一―五八

1　一人一語ノウチ　文芸春秋　四―四　文芸春秋社

二五

1　魚　三田文学　復活一―一　三田文学会

九八―一〇一

15　リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」（六）〔翻訳〕　英語青年　五五―二　英語青年社

八

27　能楽の趣味　三田新聞　三田新聞学会

四

五月

1　喜多先生感服録　喜多　喜多刊行会事務所

四―六

1　品紫評紅録（二十七）〈望月（上）〉〔合評、談〕　喜多　喜多刊行会事務所

二五―二九

六月

1　和洋両式の音楽　不同調　二―六　不同調社

七四―七七

1　銀座街頭に立ちて　女性　九―六　プラトン社
　＊五六―六三
1　品紫評紅録（二十八）〈望月（下）〉〔合評、談〕　喜多　一三―一七
10　ユウトピヤの記事　成人　一―一〇　喜多刊行会事務所
　三六―三九　開発社
　＊9月10日まで4回連載
七月
1　品紫評紅録（二十九）〈景清（上）〉〔合評、談〕　喜多　一―五　喜多刊行会事務所
1　長岡懐古　伝説　一―二　日本伝説学会
　一六二―一六四、一三四
1　音楽に聾なる私　交響楽　一―七　日本交響楽協会
　一〇―一一
10　ユウトピヤの記事（二）　成人　一―一一　開発社
　三四―三七
10　**小泉八雲全集　第七巻**ノウチ〔大谷正信・田部隆次と共訳〕　戸川明三　第一書房
　耳無芳一の話（一七九―一九四）、貉（二一九―二三二）、葬られたる秘密（二四七―二五一）
15　**英文学覚帳**　大岡山書店
　乞食詩人キリアム・デイヴイス、再び乞食詩人を、ドン・ジュアン号沈没の前後、シェレェ雑談、ミルの詩人論、人を喰つた夢想郷、月の世界及び日の世界、トム・ジョオンズ、リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの逮夜」、フランス革命とその先駆となつた詩人、英文学印象記を読んで、エイルキン物語序、イギリス思想影響の一端、フイオナ・マクロオドより、ツレロォニイのシェレェ追想記から、謡曲の英訳、ノオト・ブツクより、サア・トマス・モアのこと
八月
1　猫　騒人　一―五　騒人社
1　五月一日の事　文芸春秋　四―八　文芸春秋社
　七三―七五
1　野口米二郎著　松の木の日本（「良書推薦」ノウチ）　文芸春秋　四―八　文芸春秋社
　九七
10　ユートピアの記事　成人　一―一二　開発社
　三三―三九
九月
1　鉢木　喜多　喜多刊行会事務所
　二―三
1　品紫評紅録（三十一）〈藤戸（上）〉〔合評、談〕　喜多　喜多刊行会事務所
　七―一〇
10　ユートピアの記事　成人　二―一　大岡山書店
　三九―四五
一〇月1　新居の記　随筆　一―五　人文会出版部
　七八―八〇
一一月1　不安　文芸時代　三―一一　金星堂
　一〇〇―一〇二

5 **続一日一文**ノウチ　朝日新聞社
魚の真似をする人達　二六七―二七〇

昭和元年

一二月28 **大英国民史　下（泰西名著歴史叢書八）**　国民図書株式会社

昭和二年

二月 1 北村透谷君と私　改造　九―二
＊五―七

1 品紫評紅録（三十五）〈紅葉狩（上）〉〔合評、談〕　改造社
喜多

一一―一四　喜多刊行会事務所

15 某生へ　英語青年　五六―一〇
二四　英語青年社

三月 1 品紫評紅録（三十六）〈紅葉狩（中）〉〔合評、談〕
喜多

九―一一　喜多刊行会事務所

4 啓蒙能楽談（1）　報知新聞
四　報知新聞社

＊6回連載

6 啓蒙能楽談（2）　報知新聞
四　報知新聞社

7 啓蒙能楽談（3）　報知新聞
四　報知新聞社

8 啓蒙能楽談（4）　報知新聞

四　報知新聞社

9 啓蒙能楽談（5）　報知新聞
四　報知新聞社

10 啓蒙能楽談（6）　報知新聞
四　報知新聞社

28 **現代随筆大観**（評論・随筆家協会編）ノウチ　新潮社
人の呼び名　三六七―三七三

30 断じて府立へは入れない（上）　東京朝日新聞
五　東京朝日新聞社

31 断じて府立へは入れない（下）　東京朝日新聞
五　東京朝日新聞社

四月 1 品紫評紅録（三十七）〈紅葉狩（下）〉〔合評、談〕
喜多

五―七　喜多刊行会事務所

五月 10 快感のいろ〳〵　成人　二―九
四四―四六　大岡山書店

20 **小泉八雲全集　第八巻**〔翻訳〕　戸川明三
神国日本、追録、あとがき　第一書房

六月 1 町の音楽　三田文学　二―六
一一六―一一九　三田文学会

26 「神国日本」を訳して（1）　報知新聞
三　報知新聞社

＊4回連載

27 「神国日本」を訳して（2）　報知新聞
四　報知新聞社

28 「神国日本」を訳して（3） 四 報知新聞 報知新聞社

29 「神国日本」を訳して（4） 四 報知新聞 報知新聞社

七月

1 翻訳製造株式会社 ＊一四―一八 改造 九―七 改造社

1 大英国民史を訳了して 六七―七〇 三田評論 三五九 三田評論発行所

八月

1 品紫評紅録（四十）〈蟬丸（上）〉〔合評、談〕 一―四 喜多 喜多刊行会事務所

1 再びガストロノミイ 一一二―一一五 三田文学 二―八 三田文学会

10 **十日物語（世界名作大観46）**〔ボッカチオ「デカメロン」の翻訳〕 ＊大正5年の泰西名著文庫版の改版 国民文庫刊行会

10 謡曲の幽霊 四三―四六 成人 二―一二 日本成人教育協会

19 新宮に客となって（1） 三 報知新聞 報知新聞社

＊4回連載

21 新宮に客となって（2） 三 報知新聞 報知新聞社

22 新宮に客となって（3） 四 報知新聞 報知新聞社

23 新宮に客となって（4） 四 報知新聞 報知新聞社

九月

1 品紫評紅録（四十一）〈蟬丸（下）〉〔合評、談〕 一一―一四 喜多 喜多刊行会事務所

10 道学先生の旅 四三―四七 成人 三―一 日本成人教育協会

一〇月

1 新築舞台雑感 六―八 喜多 喜多刊行会事務所

1 品紫評紅録（四十二）〈葵上（上）〉〔合評、談〕 九―一二 喜多 喜多刊行会事務所

一一月

1 杓子定木 四五―四九 三田評論 三六三 三田評論発行所

1 未覚池塘春草夢 一〇〇―一〇三 三田文学 二―一一 三田文学会

1 品紫評紅録（四十三）〈葵上（下）〉〔合評、談〕 一三―一六 喜多 喜多刊行会事務所

一二月

1 加藤朝鳥君の「英文学夜話」を読む 六〇―六三 大調和 一―九 春秋社

昭和三年

一月

1 品紫評紅録（四十四）〈野守〉〔合評、談〕

四―九　喜多

1　教壇から　喜多刊行会事務所

二月

1　品紫評紅録（四十五）〈松風（上）〉〔合評、談〕　三田評論　三六五　三田評論発行所

五四―五八

五―七　喜多

三月

1　田園小説　不同調　六―三　喜多刊行会事務所

六四―六七　不同調社

1　品紫評紅録（四十六）〈松風（下）〉〔合評、談〕　喜多

一五―一八　喜多刊行会事務所

10　田園日記　成人　三―七　日本成人教育協会

四七―五一

30　新刊良書推奨ノウチ　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

七

四月

29　十国峠絶頂のシェクスピヤ（上）　読売新聞　読売新聞社

四

＊4回連載

五月

1　十国峠絶頂のシェクスピヤ（二）　読売新聞　読売新聞社

四

1　日記から　三田文学　三―五　三田文学会

一一八―一二一

3　十国峠絶頂のシェクスピヤ（三）　読売新聞　読売新聞社

四

4　十国峠絶頂のシェクスピヤ（完）　読売新聞　読売新聞社

四

10　石田さんの顔　成人　三―九　日本成人教育協会

四六―四八

5　エッセイに就いて　竹友藻風君の所論から（上）　国民新聞　国民新聞社

七

6　エッセイに就いて　竹友藻風君の所論から（下）　国民新聞　国民新聞社

五

七月

1　品紫評紅録（四十九）〈道成寺（下）〉〔合評、談〕　喜多

一五―一九　喜多刊行会事務所

八月

1　軽井沢にて　三田文学　三―八　三田文学会

四四―四五

10　喧嘩　成人　三―一二　日本成人教育協会

四七―四九

12　イギリスのアルプス文学（一）　報知新聞　報知新聞社

八

＊9回連載

13　イギリスのアルプス文学（二）　報知新聞　報知新聞社

八

14　イギリスのアルプス文学（三）　報知新聞　報知新聞社

八

15　イギリスのアルプス文学（四）　報知新聞　報知新聞社

八

16 イギリスのアルプス文学（五） 報知新聞 報知新聞社
八

17 イギリスのアルプス文学（六） 報知新聞 報知新聞社
八

19 イギリスのアルプス文学（七） 報知新聞 報知新聞社
八

20 イギリスのアルプス文学（八） 報知新聞 報知新聞社
八

21 イギリスのアルプス文学（九） 報知新聞 報知新聞社
八

九月 1 品紫評紅録（五十一）〈鬼界島（下）〉〔合評、談〕 喜多 喜多刊行会事務所
七―一〇

1 ハアディの事から推して 不同調 七―三 不同調社
三二―三四

一〇月 1 英語科問題私見 英語青年 六〇―一 英語青年社
六

1 日記から 戸川明三 喜多 喜多刊行会事務所
八―一〇

一一月 29 花と別れる（上） 読売新聞 読売新聞社
四

＊4回連載

30 花と別れる（中） 読売新聞 読売新聞社
四

一二月 1 花と別れる（下ノ一） 読売新聞 読売新聞社
四

4 花と別れる（完） 読売新聞 読売新聞社
四

10 可笑しな話 成人 三―一六 日本成人教育協会
四三―四六

26 異国叢書第六巻 呉博士訳註 ケンプェル江戸参府紀行 時事新報 時事新報社
五

＊節子姫とアヤちゃん をだまき艸（創刊号）

＊『愛と叛逆：文化学院の五十年（文化学院出版部）』による。正確な発行者、発行日、ページ数は不明。昭和8年発行の随筆集『都会情景』に収録

昭和四年

一月 1 短篇小説の研究（第七回）〈ロバアト・ルゥイ・スティヴンスン〉 英語青年 六〇―七 英語青年社
八

1 文芸の王国 三田文学 四―一 三田文学会
一〇〇―一〇二

21 伊豆半島を想ふ（1） 報知新聞 報知新聞社
六

＊4回連載

22 伊豆半島を想ふ（2） 報知新聞

六　報知新聞社

23　伊豆半島を想ふ（3）　報知新聞　報知新聞社

六

24　伊豆半島を想ふ（4）　報知新聞　報知新聞社

六

二月　1　得三氏の『あしかり』―合評五十四回―〔合評〕　喜多

一二―一九　喜多刊行会事務所

三月　1　ジョンスン先生の警句　雄弁　二〇―三　大日本雄弁会講談社

一二三―一二四

14　築地、歌舞伎、および能　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

五

四月　10　ジョンスン先生言行録の一端　成人　四―四　日本成人教育協会

四六―四八

15　**楽天地獄（『ユウモア全集第三巻、戸川秋骨集』）**　現代ユウモア全集刊行会

スケッチ

凡人生活、霜の朝の戸山の原、定命、別れ、卑怯者、古外套、文鳥、ガストロノミイ、ミネルヴアへ、両隣、ポンテオ・ピラト、小泉先生の旧居にて、郊外日記

追想

電車道に沿ふて、ケエベル先生、先輩、ヘルン先生の孟宗藪に仮睡して、ソクラテス、山室大佐の追憶、波打ち際に立ちて、翻訳者の愚痴、銀座街頭に立ちて、冷熱の喫茶店

紀行

徒歩、精進行、長岡懐古、道学先生の旅、未覚池塘春草夢、新宮に客となって、十国峠絶頂のシェクスピヤ、大藤村講演会の一幕

パラドクス

読書、米の飯と国体、雪の窓にて、アナトオル・フランスと人権問題、翻訳不可能論、凡人崇拝、首括り綱渡り、勧進帳と雨、劇薬宗教、笑、哲学とは何ぞや、杓子定木、翻訳製造株式会社、電車哲学、人の呼び名、ぐうたら先生、弱志、二二ンが四でない事、非武士道論の悲哀、花と別れる、頑冥不霊か猫ッ冠りか

21　泥坊文学（1）　報知新聞　報知新聞社

六

＊4回連載

22　泥坊文学（2）　報知新聞　報知新聞社

六

23　泥坊文学（3）　報知新聞　報知新聞社

六

24　泥坊文学（4）　報知新聞　報知新聞社

六

五月　1　スティヴンスンのオットウ太公（上）　英語青年　六一―三　英語青年社

二五―二六

15　スティヴンスンのオットウ太公（下）　英語青年　六一―四　英語青年社

二五―二六

六月　1　日記から　三田評論　三八二　三田評論発行所

四八―五一

七月

1 英太子御来朝の時から 文芸春秋 七―七

二〇―二三 文芸春秋社

八月

12 **紀行随筆集（附）「春」「嵐」（現代日本文学全集36、戸川秋骨篇）** ノウチ 改造社

精進行、別れ、文鳥、ミネルヴァへ 一四六―一七〇

15 提灯をつけてシェイクスピヤの光を 英語青年 六一―一〇

一三―一六 英語青年社

17 書画帳（1） 報知新聞 三 報知新聞社

＊5回連載

18 書画帳（2） 報知新聞 三 報知新聞社

19 書画帳（3） 報知新聞 三 報知新聞社

21 書画帳（4） 報知新聞 三 報知新聞社

21 諸相の礼讃（現代世相展望―三―） 東京朝日新聞 五 東京朝日新聞社

22 書画帳（5） 報知新聞 三 報知新聞社

九月

1 満州夢幻の世界〈本社満蒙視察団第一信〉 読売新聞 四 読売新聞社

21 満州小便の記（一） 読売新聞 四 読売新聞社

25 満州小便の記（二） 読売新聞 四 読売新聞社

＊3回連載

27 満州小便の記（完） 読売新聞 四 読売新聞社

一一月10 その頃の人達 成人 四―一一 日本成人教育協会

20 洮南の災（1） 報知新聞 三 報知新聞社

＊8回連載

21 洮南の災（2） 報知新聞 四 報知新聞社

22 洮南の災（3） 報知新聞 四 報知新聞社

23 洮南の災（4） 報知新聞 三 報知新聞社

24 洮南の災（5） 報知新聞 三 報知新聞社

25 洮南の災（6） 報知新聞 三 報知新聞社

26 洮南の災（7） 報知新聞 三 報知新聞社

27 洮南の災（8） 報知新聞 三 報知新聞社

一二月 1 古い酒、古い袋 二―三 郊外一〇―一二 郊外社 一〇九―一一〇 大日本雄弁会講談社

10 可笑味の道成寺詣 三八―四〇 成人 四―一二 日本成人教育協会 1 啓蒙見学旅行 九二―九九 東亜 三―二 東亜経済調査局

10 生きた学問 死んだ学問（一） 五 東京朝日新聞 東京朝日新聞社

昭和五年

一月 1 啓蒙見学旅行 八七―九九 東亜 三―一 東亜経済調査局

＊4月まで4回連載 ＊3回連載

1 種子の蒔かれた頃（一） 六 時事新報 時事新報社

11 生きた学問 死んだ学問（二） 五 東京朝日新聞 東京朝日新聞社

＊5回連載

3 種子の蒔かれた頃（二） 四 時事新報 時事新報社

12 生きた学問 死んだ学問（三） 五 東京朝日新聞 東京朝日新聞社

三月 1 極度まで生かされた型 一〇―一二 喜多 喜多流謡本刊行会

4 種子の蒔かれた頃（三） 四 時事新報 時事新報社

1 啓蒙見学旅行 九四―一〇二 東亜 三―三 東亜経済調査局

四月 1 啓蒙見学旅行 八六―九三 東亜 三―四 東亜経済調査局

5 種子の蒔かれた頃（四） 四 時事新報 時事新報社

1 或る日のピイプス（上） 六―七 英語青年 六三―一 英語青年社

15 或る日のピイプス（下） 六―七 英語青年 六三―二 英語青年社

6 種子の蒔かれた頃（五） 四 時事新報 時事新報社

10 景清 四三―四六 成人 五―一 日本成人教育協会

25 Samuel Pepys の事 English literature and Philology 巻1 五三―六八 慶應義塾大学英吉利文学会

二月 1 秋刀魚は目黒に限る 二一―二三 文芸春秋 八―二 文芸春秋社

五月 1 一月六日の事 八―一〇 三田文学 五―五 三田文学会

1 少し膨張しようと思つて 現代 一一―二

1 一月六日の事 ゆうもあ 三―三
30 還暦祝ひを迎へて 戸川君の思出話〔談〕 六―八 三田新聞 ゆもりすと社
六月 24 随想二つ三つ 五 三田新聞 三田新聞学会
六 三田新聞学会
七月 15 安本と植木 英語青年 六三―八 三田新聞学会
二 英語青年社
20 **永遠の都（世界大衆文学全集第三九巻）**〔Hall Caine の原著の翻訳〕 改造社
八月 1 為になつたこと 七七 現代 一一―八 大日本雄弁会講談社
1 現代英国作家（九）Aldous Huxley 三、五 英語青年 六三―九 英語青年社
15 Aldous Huxley の Point Counter Point 七―八 英語青年 六三―一〇 英語青年社
19 私の一九三〇年（1） 三 報知新聞 報知新聞社
＊4回連載
20 私の一九三〇年（2） 三 報知新聞 報知新聞社
21 私の一九三〇年（3） 三 報知新聞 報知新聞社
22 私の一九三〇年（4） 三 報知新聞 報知新聞社
九月 1 竹友藻風氏の英文学論攷 五 時事新報 時事新報社
10 清経 成人 五―九 日本成人教育協会
一一月 14 フイオナ・マクロオドより〔翻訳〕 四三―四五 文芸意匠 一―三 文芸意匠社
一二月 1 身辺の近事 九六―九七 喜多 喜多流謡本刊行会
1 ハルビンの三日 一一―一三 三田評論 四〇〇 三田評論発行所
一七―二〇

昭和六年

一月 1 能楽談 四 三田新聞 三田新聞学会
1 不良老年気質 一三二 現代 一二―一 大日本雄弁会講談社
1 叔父に関する追想 二七―二 喜多 喜多流謡本刊行会
1 弱法師の合評〔合評〕 二―一一 喜多 喜多流謡本刊行会
10 その頃の人達（再び） 成人 六―一

四五―四七　日本成人教育協会

15　**能楽礼讃**　大岡山書店

啓蒙能楽談、再び道成寺を観る、六平太氏の能、緘黙の音楽、静止の舞踊、男性美の芸術、文学の宝庫、お能拝観、火にも焼けぬ芸術、能とオペラとの字義、外国での能の研究、謡曲の幽霊、清経、景清、鉢木、国栖、実君へ、お能拝観記（気分情調の芸術、項羽　連歌盗人、巴　求塚　景清、小督　蟬丸、海人　安宅　狐釣、藤戸、黒塚、安宅　石橋、実盛　松風　望月、猩々、清経　隅田川、田村、小袖曽我、井筒　国栖）

附録（実盛、松風、隅田川、求塚、善知鳥（鳥頭）、景清、道成寺）

＊国会図書館に、昭和五年十一月十五日発行の奥付の附された『能楽礼讃』が所蔵されているが、その記載が上書きされているように見えることと、十一月十五日の日付の跋文は、内容もこの昭和六年版と全く同じことから、発行日は昭和六年一月十五日の方を採用した。

16　反ソヴエート戦争起こらばノウチ　ナップ　二―一

一七　戦旗社

五月　1　安部能成君の私信　喜多

二一―二二　喜多流謡本刊行会

15　**自然・気まぐれ・紀行**（随筆集）　第一書房

饒舌

書画帖、泥坊の住所姓名、私の一九三〇年、人の呼び名、古い酒古い袋、泥坊文学、五月一日の事、可笑味の道成寺詣、石田さんの顔、喧嘩、冷熱の喫茶店、町の音楽、可笑しな話、快感のいろいろ、自分の郊外生活、松茸の山、一月六日の事、花と別れる、春かへる、不安

日記

日記から

餓鬼

秋刀魚は目黒に限る、再びガストロノミイ、悪もの喰ひ、魚

懐疑

劇薬宗教、頑冥不霊か、猫ソ冠りか、築地、歌舞伎、および能、魚の真似をする人達、和洋両式の音楽、文芸の王国、モダン・ガアルと新しき女、講壇から、大英国民史を訳了して、生きた学問死んだ学問

回顧

その頃の人達、憶ひ出の大阪、種子の蒔かれた頃、グロスタア公をお迎へして

紀行

イギリスのアルプス文学、山岳征服、新年に伊豆半島を想ふ、長岡懐古、道学先生の旅、未覚池塘春草夢、新宮に客となつて、十国峠絶頂のシエイクスピヤ、軽井沢にて、豆相一日の快走、啓蒙見学旅行、洮南の災、旅順口、満洲意外の記、満洲夢幻の世界、満洲小便の記、墳墓の地、大連から帰つて、旅のをはり

六月　1　現英文壇のエツセイ　セルパン　二

三六―三九　第一書房

15　憶測から憶測へ　英語青年　六五―六

二―三　英語青年社

15 **英文学覚帳** 第一書房

＊大正15年7月15日発行大岡山書店版の普及版、版型同一

七月 1 「船橋」の合評〔合評〕 喜多 二一―八

1 薄赤い開き封の親展 現代 一二―七 八六―八七

22 漫談 カアライルとミル 大日本雄弁会講談社 七五―八五

English literature and philology 巻2 慶應義塾英吉利文学会

八月 1 実さんの弁慶に就いて 喜多 一九

九月 10 書画屋 成人 六―九 三八―四一

20 小泉一雁氏の父「八雲」を憶ふ 日本成人教育協会

社会教育 一三 財団法人社会教育会

＊一

＊表題の表記は原文のまま。タブロイド版新聞紙の形式

一二月 5 交友会の崩れ 古東多万 一―三 二四―三〇

25 小さな庭の椿 相互出版協社やぽんな書房 六―八

冬柏 三―一 冬柏発行所

昭和七年

一月 1 深味の芸術 観世 三―一 二二―二四

観世発行所

1 国産芸術 喜多 一五―一七

1 天鼓の合評〔合評〕 喜多流謡本刊行会 二一―二四

1 素顔の小泉八雲へ一雄さんの『父「八雲」を憶ふ』を読みて〉 喜多流謡本刊行会

セルパン 一一 七〇―七三

三月 14 土臭・亀の子・国事 第一書房 五

四月 1 Obiter Dicta (1) 帝国大学新聞 英語青年 六七―一 一〇―一四

帝国大学新聞社

15 Obiter Dicta (2) 英語青年 六七―二 六―七

＊5月1日まで3回連載

英語青年社

25 銀座の柳・椿 冬柏 三―四 三四六―三四七(通巻)

冬柏発行所

五月 1 Obiter Dicta (3) 英語青年 六七―三 一一―一二

英語青年社

六月 1 父「八雲」を憶ふ 良書百選 第一輯 一六―一八

日本図書館協会調査部

九月 1 邯鄲の合評〔合評〕 喜多 一〇―九 二五―二九

喜多流謡本刊行会

18 鈍物の読書 大阪朝日新聞 五

大阪朝日新聞発行所

一〇月1　故人の原稿その他　一一―一五　書物展望　二―一〇　書物展望社

1　謡曲の写実　二八―三〇　観世　三―一〇　観世発行所

1　謡曲中の老勇士　二―四　喜多　一〇―一〇　喜多流謡本刊行会

15　ホワイトのセルボオンの博物志（一）　五―七　英語青年　六八―二　英語青年社

＊8年7月1日まで16回連載

一一月1　能楽に関する最近の感想　八―九　謡曲界　三八―更新三　謡曲界発行所

1　ホワイトのセルボオンの博物志（二）　一〇―一一　英語青年　六八―三　英語青年社

1　伝記文学の双璧　三二―三三　新英米文学　一―一〇　新英米文学社

10　**神国日本**〔小泉八雲の翻訳〕　第一書房

15　セルボオンの博物志（3）　一三―一四　英語青年　六八―四　英語青年社

16　団十郎の裸体姿（一）　五　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

＊4回連載

17　団十郎の裸体姿（二）　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

18　団十郎の裸体姿（三）　五　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

19　団十郎の裸体姿（四）　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

一二月1　セルボオンの博物志（4）　一三―一四　英語青年　六八―五　英語青年社

1　中島商工大臣を中心に　六―九　文芸春秋　一〇―一三　文芸春秋社

2　歳末の感　二　三田新聞　三田新聞学会

15　セルボオンの博物志（5）　一四―一五　英語青年　六八―六　英語青年社

昭和八年

一月1　百万の合評〔合評〕　二九―三五　喜多一一―一　喜多流謡本刊行会

1　セルボオンの博物志（6）　一一　英語青年　六八―七　英語青年社

1　謡曲のエロ　一三五―一三七　謡曲界　三七―一　謡曲界発行所

15　セルボオンの博物誌（7）　一一　英語青年　六八―八　英語青年社

二月1　時計をとられる　三二―三六　新潮　三〇―二　新潮社

1　セルボオンの博物志（8）　英語青年　六八―九

七―八

15 セルボオンの博物志（9） 英語青年 六八―一〇 英語青年社
一四―一五

20 **マコーレー論文集（世界大思想全集72）**（翻訳） 春秋社
ウヲーレン・ヘイスチングス、クライヴ、フレデリック大王、ピット、歴史論

三月

1 セルボオンの博物志（10） 英語青年 六八―一一 英語青年社
一一―一二

5 政治を取扱つた文学〔一〕 国民新聞 国民新聞社
五

＊3回連載

6 政治を取扱つた文学〔二〕 国民新聞 国民新聞社
五

7 政治を取扱つた文学〔三〕 国民新聞 国民新聞社
五

15 セルボオンの博物志（11） 英語青年 六八―一二 英語青年社
一四―一五

四月

1 古い写真を見て 現代仏教 一〇―一〇三 現代仏教社
一〇四―一〇七

15 セルボーンの博物誌（12） 英語青年 六九―二 英語青年社
一四

五月

1 セルボオンの博物誌（13） 英語青年 六九―三 英語青年社
一二―一三

1 岡野さんの想ひ出 半面 復刊五号 郊外社
一八―二一

15 セルボオンの博物誌（14） 英語青年 六九―四 英語青年社
一三

19 「英米文学の背景」 東京朝日新聞 東京朝日新聞社
六

六月

1 セルボオンの博物誌（15） 英語青年 六九―五 英語青年社
一一―一二

1 苦笑 新潮 三〇―六 新潮社
四二―四三

1 銀座裏での一小話 作品 四―六 作品社
五七―五八

5 **伝記文学（岩波講座 世界文学）** 岩波書店
起源、支那の伝記、肖像画、興味の伝記、伝記文学の発生、イギリスの伝記文学、ボスエルのジョンスン伝、十九世紀の伝記文学、現代の伝記文学

15 ロンドン・ブックマン 東京堂月報 二〇―六 東京堂
八―一一

七月

1 セルボオンの博物誌（16） 英語青年 六九―七 英語青年社
九

15 本場もの 文体 一―一 文体社
五―九

八月

4 宮中へはいりこんだ少年の話 三田新聞 三田新聞学会
二

27 静かな湖水 週刊朝日 二四―一〇 朝日新聞社
一二

一〇月

1 憶ひ出の銀座 銀座 一―二

二　銀座社

20　口上　文鳥　一
一―二　文鳥社

20　エレホン晩餐会　文鳥　一
二〇―二三　文鳥社

20　風車小屋から　文鳥　一
六二―六五　文鳥社

＊10年4月20日まで5回連載

20　亡友帖（一）　文鳥　一
六六―六七　署名なし　文鳥社

＊11年2月20日まで6回連載

一一月1　四十年前の「文学界」　文学界　一―二
一二一―一二六　文化公論社

10　ライオンの笑顔　自由を我等に　第三号
四―五　「自由を我等に」編輯部

一二月1　老人の喜劇　新青年　一四―一四
一九六―二〇一　博文館

1　フランク・ハリス　作品　四―一二
八四―八五　作品社

1　**新文芸思想講座　第三巻**ノウチ
現代随筆論　文芸春秋社
三一五―三二四

10　**都会情景**〔随筆集〕　第一書房
舞台顔と素顔、団十郎の裸体姿、書画屋、薄赤い開き封の親展、苦笑、時計をとられる、交友会の崩れ、結婚披露の会、節子姫とアヤちゃん、少し膨張しようと思つて、映画を見ざるの記、不良老年気質、長閑けからぬ心、銀座の柳・椿、時好の移動、銀座裏での一小話、弘徽殿の細殿と公園の木かげ、自然居士、謡曲の写実、深味の芸術、謡曲のエロ、能楽に関する最近の感想、国産芸術、能楽雑談、政治を取り扱つた文学、満蒙回顧、葦の髄から、時事、陸軍と警察、土臭・亀の子・国事、小さな庭の椿、和田美術学校長を中心に、中島商工大臣を中心に、その頃の人達、古い写真を見て、岡野さんの憶ひ出、北村透谷君と私、故人の原稿その他、鈍物の読書、翻訳紀念の会、竹友藻風氏の英文学論攷、日高氏の英米文学の背景、平田禿木君の『英文学散策』、ロンドン・ブックマン、現英文壇のエッセイ、伝記文学の双璧、ユウトピヤの記事、素顔の小泉八雲、或る日のピイプス、安本と植木、臆測から臆測へ、提灯をつけてシェイクスピヤの光を、Samuel Pepysの事、漫談カアライルとミル、若からんと欲する心、中綱湖畔の数日、本場もの

17　バトラアの不思議な逸話　新英米文学　二―八
一六―一七　新英米文学社

24　**英語英文学講座**ノウチ　英語英文学講座刊行会
ヴィクトリア女王、寸評、ストレイチ氏の事
一七―三六

昭和九年

一月　1　光明照四海〔謡曲作詞〕　謡曲界　三八―一
巻頭写真版　謡曲界発行所

1　お正月と能　三田新聞

二　三田新聞学会

1　近事三則　喜多　一二―一　喜多流謡本刊行会　四―五

1　スティヴンスンのオツトオ大公の一節〔翻訳〕　上級英語　研究社

＊現物未確認。昭和9年1月15日発行『英語青年』掲載の「新聞雑誌英学一覧」による

15　博物誌中の亀の子　英語青年　七〇―八　英語青年社　一〇―一二

＊2月1日に続く

二月

1　郊外の心中　三田文学　九―二　三田文学会　一四九―一五一

1　真冬の一夜の事　文芸春秋　一二―二　文芸春秋社　一四―一五

1　「博物誌」中の亀の子（二）　英語青年　七〇―九　英語青年社　一三―一四

15　否定の人　英語青年　七〇―一〇　英語青年社　六

23　私の顔　文鳥　二　文鳥社　一―三

23　老人　文鳥　二　文鳥社　四一―四三

23　風車小屋から（二）　文鳥　二　文鳥社　六九―七三

23　亡友帖（二）　秋生　文鳥社　文鳥　二

七四―七七

23　申しわけ　署名なし　文鳥社　文鳥　二　七八

＊編集後記（90頁）にも短文あり

三月

1　能楽の第一義　観世　五―三　観世会　二―四

1　伝統の花　セルパン　三七　第一書房　二九―三一

1　思想の融合　世界文学　一―一　世界文学社　三二―三三

四月

1　私の愛読した本　新潮　三一―四　新潮社　一三一―一三二

1　能楽に於ける名人の印象　文学　二―四　岩波書店　一六八―一七一

1　本三番もの　謡曲界　三八―四　謡曲界発行所　四―七

9　英文学風物誌　東京朝日新聞　東京朝日新聞社　六

24　強きを助け弱きをくじく（一）　東京朝日新聞　東京朝日新聞社　九

＊3回連載

25　強きを助け弱きをくじく（二）　東京朝日新聞　東京朝日新聞社　九

26　強きを助け弱きをくじく（三）　東京朝日新聞　東京朝日新聞社　九

五月

1 談漫調子外れ　八―一〇　喜多　一二―五　喜多流謡本刊行会

1 南部地方の禽鳥〔リチャード・ジェフリーズ“Wild Life in a Southern Country”の翻訳〕　野鳥　一―一　四一―四三　梓書房

＊7月1日まで3回連載

1 「野鳥之会」座談会〔座談会〕　野鳥　一―一　四四―五八　梓書房

＊7月1日まで3回連載

1 エドマンド・ゴス氏の「父と子」　作品　五―五　一〇三―一〇四　作品社

4 拙文弁疏　東京朝日新聞　九　東京朝日新聞社

14 築地の憶出〈少年梅吉君のこと〉　中外商業新報　一（夕刊）　中外商業新報社

20 米の飯　時事新報　五　時事新報社

21 わが愛読書ノウチ　帝国大学新聞　七　帝国大学新聞社

六月

1 軽い葛籠　行動　二―六　紀伊国屋出版部　一五八―一六〇

1 南部地方の禽鳥〔リチャード・ジェフリーズ“Wild Life in a Southern Country”の翻訳〕　野鳥　一―二　三二―三六　梓書房

1 「野鳥之会」座談会　野鳥　一―二　七〇―七四　梓書房

1 推薦（「なかじま屋の酒」ノウチ）〔広告〕　心境　一―三　五一　郷土研究社

20 笑・赤・剣難　文鳥　三　一―六　署名なし　文鳥社

20 後藤得三さんを語る（「後藤得三を斯う観る！」ノウチ）　謡曲界　三八―六　七八―七九　謡曲界発行所

20 英文壇小話　文鳥　三　五二―五四　文鳥社

20 風車小屋から（三）　文鳥　三　六七―七四　秋生　文鳥社

20 亡友帖（三）　文鳥　三　七五―七七　署名なし　文鳥社

＊編集後記にも短文あり

七月

1 「野鳥之会」座談会　野鳥　一―三　六一―七六　梓書房

1 南部地方の禽鳥〔リチャード・ジェフリーズ“Wild Life in a Southern Country”の翻訳〕　野鳥　一―三　五三―五七　梓書房

1 大本山モンテエニュ　文体　二―七

五二―五八　文体社

1　鴻南会の一夕　あらくれ　二―七　紀伊国屋出版部

二〇―二二

1　現代の吾が親子　児童　一―二　刀江書院

六四―六九

7　本間久雄氏の労作〈『英国近世唯美主義の研究』読後に〉　報知新聞

九　報知新聞社

28　赤城の黒檜山登攀　冬柏　五―八　冬柏発行所

六六九―六七一（通巻）

八月

1　池内翁に関する話をきき　喜多　一二―八　喜多流謡本刊行会

三五―三七

1　意気　三田文学　九―八　三田文学会

一〇八―一一一

1　幼稚園生の小鳥見学　野鳥　一―四　梓書房

五〇―五三

1　野菜の俳味　俳句研究　一―六　改造社

一二〇―一二二

＊**文学講話**　戸川明三　慶應義塾商業学校

＊7月25、27、31日に行われた、慶應義塾商業学校第一回課外講座の講演速記。発行年月日不明。

九月

1　始めての謡ひの稽古　謡曲界　三九―三　謡曲界発行所

六二―六三

3　翻訳四十年　帝国大学新聞　帝国大学新聞社

三

10　出来合道徳の批判　ステイルマン女史の「バトラア伝」　大阪朝日新聞　大阪朝日新聞発行所

七

一〇月

1　グレイ子爵の文集　作品　五―一〇　作品社

八〇―八一

1　フアロオドン小品から〔グレーの翻訳〕　野鳥　一―六　梓書房

一四〇―一四二

1　文学に志さなかつたら　レッェンゾ　紀伊国屋書店

五七

15　スキフトとバトラア　英語青年　七二―二　英語青年社

四―五

一一月

1　鼠色　文鳥　四　関書店

一―六

1　愚痴〈バトラの評伝を書いて〉　文鳥　四　関書店

三三―三五

1　風車小屋から（四）　文鳥　四　関書店

五七―六五

1　亡友帖（四）　文鳥　四　関書店

六六―六八

1　銀座の半世紀　署名なし　セルパン　四五　第一書房

三三―三五

2　追憶　丘の上（『三田新聞』臨時増刊）　三田新聞学会

＊原本未確認。記述は昭和9年10月12日発行の「三田新聞」誌上掲載の予告記事による。随筆集『自画像』に一部収録

5　リヤ王の鑑賞点　沙翁復興　一四号　中央公論社　八―一六

15　**バトラー（研究社英米文学評伝叢書―59）**　研究社

20　どろ坊　読売新聞　読売新聞社　四

一二月　1　別会を観て　喜多　一二―一二　喜多流謡本刊行会　一八―一九

23　佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」　読売新聞　読売新聞社　四

28　明治学院時代の憶出　冬柏　六―一　冬柏発行所　六六―六九

昭和一〇年

一月　1　野宮の合評　喜多　一三―一　喜多流謡本刊行会　五―九

1　助さん格さんとメイリ・マクラレン　三田文学　一〇―一　三田文学会　二一〇―二一三

1　木蒐の一日　野鳥　二―一　梓書房　七四―七六

1　約六十年前に見た能　謡曲界　四〇―一　謡曲界発行所　七七―七九

1　観世流改訂本を見て　謡曲界　四〇―一　謡曲界発行所　九八

二月　1　門外漢の映画論　セルパン　四八　第一書房　七〇―七四

1　「日本野鳥の会」主催　鳥に就て物を聴く会（談）　野鳥　二―二　梓書房　一三五―一四一

1　日本精神と謡曲及び能楽（「特輯日本精神の復興と能楽」ノウチ）　謡曲界　四〇―二　謡曲界発行所　三八―四〇

三月　1　「日本野鳥の会」主催　鳥に就て物を聴く会（談）　野鳥　二―三　梓書房　五一―五六

20　**現代随筆全集　第一巻**ノウチ　金星堂

精進行、勧進帳と雨、秋刀魚は目黒に限る、本場もの　二五六―二九九

30　一葉劇上演の際の事　随筆趣味　三　双雅房　一三八―一四二

四月　1　見本五葉　セルパン　五〇　第一書房　七〇―七一

1　文人ぎらひ　真理　一―四　全日本真理運動本部　四二―四六

1　装釘各説　書物展望　五―四　書物展望社　七

7　安宅の合評会　千鳳会所演（合評）　喜多　一三―四

20　憶ひ出される先生方　二八―三五　文鳥　五　喜多流謡本刊行会

20　オオバアマンから　一―一一　文鳥　五　関書店

20　風車小屋から（五）　四九―五三　鳰てる子　関書店

20　亡友帖（五）　六四―七二　文鳥　五　秋生　関書店

＊編集後記（79頁）にも短文あり　七三―七四　文鳥　五　署名なし　関書店

25　食を中心として　ページ表記なし　時世粧　二　時世粧同人会

28　悼文　二九―三一　冬柏　六―四　冬柏発行所

五月

1　与謝野寛氏の追憶　一八六―一八九　行動　三―五　紀伊国屋出版部

1　喜多六平太論　三八―四七　真理　一―五　全日本真理運動本部

1　翻訳難　一〇―一二　文芸春秋　一三―五　文芸春秋社

10　吉村冬彦氏著　触媒　四　三田新聞　三田新聞学会

10　気に入った自著・愛蔵本・出したい本・etc、ノウチ（アンケート回答）　書窓　一―二　アオイ書房

一五一

六月

1　坪内先生に関する憶出　三　英語青年　七三―五　英語青年社

1　講壇生活二十余年　二二六―二二九　三田文学　一〇―六　三田文学会

1　樋口一葉研究（「作家研究座談会十」）（座談会）　一九四―二一五　新潮　三二―六　新潮社

20　外国語・翻訳思想（一）万葉集翻訳を耳にして　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

＊4回連載

21　外国語・翻訳思想（二）外語軽視の理由と矛盾　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

22　外国語・翻訳思想（三）外語侵入と日本語　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

23　外国語・翻訳思想（四）万葉にも翻訳の香　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

七月

1　印象に残つた能ノウチ　四　謡曲界　四一―一　謡曲界発行所

1　かけす・翡翠〔ハドスンのBirds in Town & Villageの抄訳〕　野鳥　二―七　梓書房　二六―二九

10　書窓サロン　「書信」ノウチ　書窓　一―四　アオイ書房　三〇六

八月

1　勇敢な坊主　現代　一六―八　大日本雄弁会講談社　五二―五四

2　羨ましがられさうな話　三田新聞　三田新聞学会　五

九月

1　「烏頭」の一曲　野鳥　二―九　巣林書房　一―四

1　四十代、五十代　週刊朝日　二八―一〇　朝日新聞社　三二―三三

1　清岡瑛一氏英訳の『福翁自伝』　三田評論　四五七号　三田評論発行所　四〇―四三

一〇月

1　中央公論想ひ出集ノウチ　中央公論　五〇―一〇　中央公論社　＊一七八

1　内田魯庵君　セルパン　五六　第一書房　一五―一八

1　再び絢爛の「烏頭」を観る　謡曲界　四一―四　謡曲界発行所　七七―七九

1　ユウモアの福沢諭吉　日本評論　一〇―一〇　日本評論社　四四五―四五一

10　**自画像**〔随筆集〕　第一書房

私の顔、老人、築地の憶出―少年梅吉君のこと―、憶ひ出の銀座、老人の喜劇、六万円、コメディ、エバクレムと白髪染、短刀をもつた男、倫理の先生、ライオンの笑顔、四十年前の「文学界」、非常時能楽、自然の大、伝統の花、軽い葛籠、ウソのやうな話、真冬の一夜の事、郊外の心中、思想の融合、漫談調子外れ、強きを助け弱きをくじく、米の飯、随想二つ三つ、笑・赤・剣難、大本山モンテエニュ、現代の吾が親子、意気、鴻南会の一夕、軍人ぎらひ、リヤ王の鑑賞点、野菜の趣味、赤城の黒檜山登攀、初めての謡ひの稽古、翻訳四十年（翻訳とのなれそめ、島崎藤村君と「女学雑誌」、ほんやく不可能論、エマスンの文章、イギリスの掃部守、シトエルズきやうだい）、どろ坊、鼠色、愚痴―バトラの評伝を書いて―、銀座の半世紀、鎌倉の一日、助さんと格さんとメイリ・マクラレン、明治学院時代の憶出、私の喫煙、木兎の一日、門外漢の映画論、ユウトピアの話、一葉劇上演の際の事、文人ぎらひ、食を中心として、憶ひ出される先生方、翻訳難、喜多六平太論、講壇生活二十余年、与謝野寛氏の追憶、坪内先生に関する憶出、口上、外国語・翻訳思想―万葉集翻訳を耳にして―、ギルバアト・ホワイトの事、ウオルトン伝の序、四十代・五十代、病床の小鳥、勇敢な坊主、風車小屋から

＊「四十代・五十代」の『自画像』本文表題の実際の表記は、「四十代、五十代」である

10　**冬柏山房抄**ノウチ　越山荘

鎌倉今昔の感　一八八―一九〇

25　**ウオルトン（研究社英米文学評伝叢書　10）**　研究社

一一月

1　私の崇敬する人物ノウチ〔アンケート回答〕　真理　一―一一

五九　全日本真理運動本部

1　花筐（大返し）の合評　得三氏近来の傑作〔合評〕　喜多　一三―一一　七―一四　喜多流謡本刊行会

1　三たび先生の道成寺を観て　喜多　一三―一一　一五―一七　喜多流謡本刊行会

1　トマス・モアの人物と「ユウトピア」　英語青年　七四―三　一四　英語青年社

1　漱石先生の憶出　思想　一六二　一六五―一七四　岩波書店

8　早慶能を見る　三田新聞　五　三田新聞学会

10　書物を読まぬ私の一家言　書窓　二―二　九二―九四　アオイ書房

一二月1　聾者の音楽拝聴　音楽雑誌フィルハーモニー　九―一一　二六―二七　新交響楽団

昭和一一年

一月　1　三井寺の合評　実氏会心の演出　喜多　一四―一　二八―三二　喜多流謡本刊行会

1　映画「沐浴」を見て　三田文学　一一―一　二一〇―二一一　三田文学会

1　謡曲の翻訳　謡曲界　四二―一　五〇―五一　謡曲界発行所

1　賀状雑記　月刊文章　二―一　七四―七五　厚生閣

21　キップリングの死　上　時事新報　九　時事新報社

22　キップリングの死　下　時事新報　五　時事新報社

二月　1　中西悟堂新著「野鳥と共に」への諸家の書簡より　野鳥　三―二　二〇四　巣林書房

20　女人交遊　文鳥　六　六〇―六六　関書店

20　荻の葉風（一）　文鳥　六　六七―七一　関書店

20　亡友帖（六）　文鳥　六　七三―七六　関書店

20　編集後記　署名なし　八四　関書店

三月　20　山高時代の憶出（1）　時事新報　九　時事新報社

＊6回連載

21　山高時代の憶出（2）　時事新報　九　時事新報社

21　高橋是清自伝　大阪朝日新聞　七　大阪朝日新聞発行所

22　山高時代の憶出（3）　七　時事新報

24　山高時代の憶出（4）　九　時事新報　時事新報社

25　山高時代の憶出（5）　九　時事新報　時事新報社

26　山高時代の憶出（6）　八　時事新報　時事新報社

28　寒冒の床にて　四―七　冬柏　七―四　時事新報社　冬柏発行所

四月

1　世阿弥とシェイクスピア　一一八―一二二　文学　四―四　岩波書店

1　花の修善寺　六四―六八　多磨二―四　アルス

20　明治二十四年以後　二〇―二四　学鐙　四〇―四　丸善株式会社

21　をなが　六―九　読書感興　一―二　双雅房

五月

1　新しく入学する方々に　一一六―一一八　作品　七―五　作品社

1　謡は心を暢気にさせるか　一一―一三　謡曲界　四二―五　謡曲界発行所

1　羨ましく思つた事　六九―七〇　雄弁　二七―五　大日本雄弁会講談社

1　「求塚」の追憶　喜多　一四―六　喜多流謡本刊行会　一八―一九

15　質疑応答〔読者への回答〕　三二　英語青年　七五―四　英語青年社

17　**随筆読本**ノウチ　現英文壇のエッセイ　三笠書房

六月

25　**小鳥の英文学**〔翻訳〕　南部地方の禽鳥（リチァアード・ジェフリズ）、かけす・翡翠（W・H・ハドスン）、ファロオドン小品から（グレイ子爵）　一二―一九　山本書店

25　夢のやうな私のドイツ文学〈若き頃のゲーテ文学への回想〉　ブルンネン　三　八五―八八　慶應義塾独逸文学会

28　尾崎先生の講演を聴く　三五―三八　冬柏　七―七　冬柏発行所

八月

1　約半世紀に亘る交誼　一三二―一三五　文学　四―八　岩波書店

1　慶應能楽研究会主催　梅若素謡会　謡曲界　四三―二

2　**鋸山奇談**〔E・A・ポオの原著の翻訳〕　鋸山奇談、長方形の箱　四二―四四　謡曲界発行所　山本書店

＊大正11年刊のアルス版とは別版。

12　**マコーレイ論文集（春秋文庫第三部）**〔翻訳〕　春秋社

＊昭和8年2月春秋社版と同一版型、ただし巻末「歴史論」のみ削除

15　私の書物についての変つた話　東京堂月報　三―八

四―五　東京堂

九月

1　ピュウトア山路ふみ子　モダン日本　七―九
六九―七〇　モダン日本社

3　**明治大正文豪研究**ノウチ　新潮社
樋口一葉研究（座談会）　五―三四

5　夏の乱想　喜多　一四―一〇
一九―二一　喜多流謡本刊行会

15　杉森先生を憶ふ　英語青年　七五―一二
二三　英語青年社

22　書籍無選択（一）　大阪朝日新聞
七　大阪朝日新聞発行所

23　読書放任（二）　大阪朝日新聞
一七　大阪朝日新聞発行所

＊前日の「書籍無選択」のつづき

一〇月

1　Levée の事　英語青年　七六―一
一七　英語青年社

1　旅で見た月　すばらしかつた月ノウチ（アンケート回答）
旅　一三―一〇
一三〇―一三二　日本旅行倶楽部

10　朝食前のレセプション　333　一―一
四二―四三　スタア社

15　粟野先生の長逝　英語青年　七六―二
二四　英語青年社

20　**短歌文学全集　与謝野晶子篇**　月報ノウチ　第一書房
与謝野さん一家を語る

＊原本未見のためページ数不明。昭和12年発行の随筆集『朝食前のレセプション』に収録

21　養子　アサヒグラフ
頁表記なし　東京朝日新聞発行所

一一月

1　天鼓　真理　二―一一
二四―二七　全日本真理運動本部

1　随想二題　葵上、花の精　謡曲界　四三―五
六六―七一　謡曲界発行所

1　ピュウトアのその後　作品　七―一一
一一〇―一一二　作品社

1　「もめん随筆」を読んで　東陽　一―七
七一―七三　巣林書房

1　市井の些事　反響　五八号
五―六　反響社

14　拝外と排他（一）　東京日日新聞
六　東京日日新聞発行所

＊5回連載

15　拝外と排他（二）　東京日日新聞
七　東京日日新聞発行所

16　拝外と排他（三）　東京日日新聞
七　東京日日新聞発行所

17　拝外と排他（四）　東京日日新聞
七　東京日日新聞発行所

18　拝外と排他（五）　東京日日新聞
七　東京日日新聞発行所

20　平田禿木訳「釣魚大全」　大阪毎日新聞
七　大阪毎日新聞社

一二月1　トーキー　葵上　試写会評〔合評、談〕
謡曲界　四三―六　謡曲界発行所
五二―五九

1　統制の芸術五番組み合せ　謡曲界　四三―六　謡曲界発行所
八四―八八

1　名人の芸〈世阿弥の言〉　喜多　一四―一三　謡曲界発行所
二―四　喜多流謡本刊行会

1　書道感　書道　六―一
一四―一六　泰東書道院出版部

15　Funny Burneyと一葉さん　英語青年　七六―六
二〇―二一　英語青年社

31　著者に聞く一九三六年ノウチ〔アンケート回答〕
書窓　三―六
六一〇（通巻）　アオイ書房

昭和一二年

一月　1　昭和十二年度喜多会例会能　番組に就いて　諸家の意見ノウチ
喜多　一五―一
一九　戸川明三　喜多流謡本刊行会

1　北平の友より〔書簡〕　三田新聞
六　三田新聞学会

10　**能楽鑑賞**　謡曲界

鑑賞
特徴ある世界的芸術、謡曲の翻訳、能楽の第一義、国産芸術、非常時能楽、能楽雑談、深味の芸術、謡曲の写実、謡曲のエロ、統制の芸術五番組み合
随筆
夏の想乱、初めての謡ひの稽古、日本精神と謡曲及び能楽、漫談調子外れ、後藤得三さんを語る、世阿弥とシェイクスピア、謡は心を暢気にさせるか、半病人の失態、早慶能、名人の芸――世阿弥の言
喜多六平太論
礼讃、性情、生ひ立、芸道
感想
再び絢爛の「烏頭」を観る、斑女、天鼓、葵上、花の精、本三番目もの、自然居士、三たび六平太氏の道成寺を観て、求塚の追憶、梅若素謡会

15　**小泉八雲全集　第八巻**（大谷正信、田部隆次共訳）〔翻訳〕
戸川明三　第一書房
耳無芳一の話（一七九―一九四）、貉（二二九―二三二）、葬られたる秘密（二四七―二五一）
＊大正15年7月版（第七巻）の改版

25　排外と排他―葵上の映画化など―
能楽画報　三一―一二
一七―一八　能楽書院
＊目次表記は「拝外と排他」

27　自叙伝の面白さ　東京日日新聞

五　東京日日新聞発行所

二月

1　合評会　昭和十二年　宗家稽古初めの福引〔合評会〕　喜多　一五―二　喜多流謡本刊行会　二―七

1　岡倉先生の追憶　五　英語青年　七六―九　英語青年社

19　今の学生は――　五　三田新聞　三田新聞学会

三月

1　十代の憶出　五―七　雑記帳　二―三　綜合工房

19　取っておきの話〔上〕　七　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

＊3回連載

20　取っておきの話〔中〕　一一　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

21　取っておきの話〔下〕　一七　東京日日新聞　東京日日新聞発行所

28　ワビスケ　二三―二四　冬柏　八―四　冬柏発行所

五月

1　私の読書法　四　日本読書新聞　日本読書新聞社

9　泡鳴君の墓石〔1〕　七　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

＊3回連載

10　泡鳴君の墓石〔2〕　一四　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

11　泡鳴君の墓石〔3〕　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

15　Shakespeareを見なほして　一七―一八　英語青年　七七―四　英語青年社

20　**漱石の読書と鑑賞**（佐藤春夫編著）ノウチ　郊外生活　四一九―四四一　小山書店

六月

1　武士道芸術　五五―五七　謡曲界　四四―六　謡曲界発行所

1　最近の映画かきのぞ記　一〇〇―一〇二　婦人画報　四〇〇　婦人画報社

15　東西の見方考へ方　二―六　文芸懇話会　二―六　文芸懇話会

25　教壇学徒らしさ「英米文学随筆」　五　読売新聞　読売新聞社

七月

1　ハウスマンのヴィクトリア・レギィナ　四三―四五　書物展望　七―七　書物展望社

1　帝国芸術院　能楽界の人選ノウチ〔アンケート回答〕　八八―八九　謡曲界　四五―一　謡曲界発行所

1　謡曲物語　国栖　一一八―一二五　謡曲界　四五―一　謡曲界発行所

＊昭和14年7月1日まで22回掲載

5 無駄の弁　五四―五六　ラヂオ講演・講座　第六輯　日本放送協会

＊記載内容は『ラヂオ講演・講座』総目次による。昭和13年発行の随筆集『朝食前のレセプション』に収録

15 太平洋上夢幻の境地　一二―一三　逓信の知識　一―一　逓信博物館

八月

1 謡曲物語　熊坂　四二―四九　謡曲界　四五―二　謡曲界発行所

1 ハウスマンと野口君との交渉　一五―一六　英語青年　七七―九　英語青年社

1 伊東から今井の浜へ　一一一―一一四　文学　五―八　岩波書店

1 待合の追悼会　九八―一〇二　三田文学　一二―八　三田文学会

1 諸家題名集（三十七）〔筆跡〕　扉　書物展望　七―八　書物展望社

1 名士回答ノウチ〔アンケート回答〕　四六―四七　温泉　八―八　日本温泉協会

20 **小泉八雲全集　第九巻**　神国日本　戸川明三　第一書房

＊昭和2年5月版（第八巻）の改版

九月

1 謡曲物語　隅田川　二一―二九　謡曲界　四五―三　謡曲界発行所

1 松野奏風君の「私の能舞台」　八四―八五　謡曲界　四五―三　謡曲界発行所

1 マンスフィールドとマリイの結婚するまで　一三四―一四一　三田文学　一二―九　三田文学会

1 一番勉強した時代、或は私の読書法　三八　真理　三―九　全日本真理運動本部

10 将官の読書　九　東京朝日新聞　東京朝日新聞社

29 声　四　読売新聞　読売新聞社

一〇月

1 菜食　六四―六七　多磨　五―四　アルス

1 秋の夜の追憶（緑雨君の訪問）　八五―八七　新潮　三四―一〇　新潮社

1 謡曲物語　巴　一四四―一五一　謡曲界　四五―四　謡曲界発行所

1 夏の読書の心覚え　二四―二七　雑記帳　二―九　綜合工房

一一月

1 謡曲物語　自然居士　八六―九三　謡曲界　四五―五　謡曲界発行所

1 名流寸筆ノウチ〔アンケート回答〕　五四　謡曲界　四五―五　謡曲界発行所

3 愛恋無限　二五―二七　読書感興　二―三　双雅房

15 **読書の眼**ノウチ　帝国大学新聞社出版部
翻訳四十年　二二六―二三七
一二月1 誌上出版記念会　能楽筆陣ノウチ　謡曲界　四五―六　謡曲界発行所
六五
1 謡曲物語　景清　謡曲界　四五―六　謡曲界発行所
一〇〇―一一〇
7 『桜井』を観る　喜多　一五―一二　喜多流謡本刊行会
三四―三五
20 **朝食前のレセプション**〔随筆集〕　第一書房
養子、十代の憶出、取っておきの話、銀座、花の修善寺、ワビスケ、拝外と排他、自叙伝の面白さ、山高時代の憶出、「今の学生は……」、明治二十四年以後、感冒の床にて、羨ましがられさうな話、ピュウトア山路ふみ子、古典の外国語訳、約半世紀に亘る交誼、与謝野さん一家を語る、内田魯庵君、漱石先生の憶出、泡鳴君の墓石、ユウモアの福沢先生、高橋是清翁自伝、小泉一雄氏の『父「八雲」を憶ふ』、杉森先生を憶ふ、粟野先生の長逝、岡倉先生の追悼、「烏頭」の一曲、天鼓、をなが、お正月風景、市井の些事、ピュウトアのその後、朝食前のレセプション、私の書物についての変つた話、『もめん随筆』を読んで、太平洋上夢幻の境地、尾崎先生の講演を聴く、最近の映画かきのぞ記、東西の見方考へ方、書道感、書籍無選択、新しく入学する方々に、秀才教育・凡才教育、萌え出づる力、夢のやうな私のドイツ文学、フランク・ハリス、エドマンド・ゴス氏の『父と子』、グレイ子爵の文集、ハウスマンの『ヴィクトリア・レギィナ』、トマス・モアの人物と『ユウトピア』、キップリングの死、平田禿木君訳『釣魚大全』、シェイクスピアを見なほして、無駄の弁、待合の追悼会、女人交遊、荻の葉風、伊東から今井の浜へ、羨ましいと思つた事、「大帝の密使」を見て

昭和十三年
一月 1 ウソ（嘘）　多磨　六―一
六四―六七
1 謡曲物語　鉢木　謡曲界　四六―一　アルス
九八―一〇九
1 「若い人」とその映画　三田文学　一三―一　謡曲界発行所
一八四―一八七
1 能楽について　日本評論　一三―一　三田文学会
六三―七四
5 結婚披露　三十日　一―一　日本評論社
一一
23 **新装（きもの随筆）**ノウチ　野田書房
花の美・肌の美・服装の美　三六―三八　双雅房
二月1 喜多六平太閑談〔インタビュー〕　文芸春秋　一六―二
二三六―二四六
1 謡曲物語　弱法師　謡曲界　四六―二　文芸春秋社
一〇三―一一〇
18 註文をつけるノウチ〔アンケート回答〕　謡曲界発行所
二〇四―二〇五　文芸春秋　事変・第六増刊　文芸春秋社

25 〝国民精神総動員〟への力強い示唆　和辻氏の「面とペルソナ」　日本読書新聞　日本読書新聞社　三

28 上田先生　冬柏　九―三　冬柏発行所　一〇―一二

28 贅沢、無精、空想　東京朝日新聞　東京朝日新聞社　四

三月

1 存りし日の雪鳥さんを俎上に追憶の座談会　喜多　一六―三　喜多流謡本刊行会　四七―六四

1 大黒柱倒る　謡曲界　四六―三　謡曲界発行所　四〇―四一

7 **読書随筆**（大草実編）ノウチ　翻訳難　矢の倉書店　二〇五―二一一

四月

1 老人　真理　四―四　全日本真理運動本部　三〇―三二

1 謡曲物語　熊野　謡曲界　四六―四　謡曲界発行所　一三四―一四一

1 英国気質是非　英語研究　三一―一　研究社　四五―四八

3 春の受験風景　週刊朝日　三三―一七　朝日新聞社　一八―一九

15 英語教養　英語青年　七九―二　英語青年社　一六―一七

五月

1 珍型生徒　新青年　一九―七　博文館　一八四

1 謡曲物語　船弁慶　謡曲界　四六―五　謡曲界発行所　八〇―八七

2 文学の輸出入　帝国大学新聞　帝国大学新聞社　七

六月

1 新鹿沢から小梅線を　多磨　六―六　アルス　八八―九一

＊目次は「小海線」

1 文学的角度から能と謡を語る座談会（座談会）　喜多　一六―六　喜多流謡本刊行会　一六―二五

1 謡曲物語　邯鄲　謡曲界　四六―六　謡曲界発行所　一〇三―一一〇

1 小鳥の声　花の色　新風土　一―一　小山書店　一四

1 舞台の享楽と女性　東宝　五四号　東宝発行所　三四―三六

七月

1 謡曲物語　実盛　謡曲界　四七―一　謡曲界発行所　一〇八―一一六

5 **友を語る**（相馬基編）ノウチ　『存じ候』第一歩　大阪毎日新聞社・東京日日新聞社　三九三―三九九

15 夏のプランノウチ　三田新聞　三田新聞学会　六

28 明治文学界への考察　月刊文章　臨時号　厚生閣　七九―八四

八月
1 謡曲物語　海人　謡曲界　四七―二　一〇五―一一五　謡曲界発行所
4 松枝茂夫訳「周作人随筆集」（「近読感銘の書」ノウチ）　読売新聞　四（第一夕刊）　読売新聞社
13 夢の水・式根島　東京日日新聞　四　東京日日新聞発行所
15 小宮豊隆氏の夏目漱石　三田新聞　四　三田新聞学会
九月
1 本多顯彰君の「文学の知識」　作品　九―九　三五―三六　作品社
1 努力・修行　喜多　一六―九　二七―二九　喜多流謡本刊行会
1 謡曲物語　天鼓　謡曲界　四七―三　八四―九二　謡曲界発行所
19 「わが旅の記」吉田絃二郎氏著　東京朝日新聞　一―五　東京朝日新聞社
26 戦争文学雑感　帝国大学新聞　七　帝国大学新聞社
28 政治家の頭　東京日日新聞　五　東京日日新聞発行所
一〇月
1 靴下の穴　観世　九―一〇　三六―三八　観世会
1 私の推薦する図書ノウチ　文芸春秋　一六―一七　五〇　文芸春秋社
1 飯田町に舞台の出来た前後〈六平太先生にものを聞く会（I）〉　喜多　一六―一〇　〔座談会〕　三四―四〇　喜多流謡本刊行会
＊原本奥付では刊行月日は9月1日となっているが、前後の号から考えて10月1日号と思われる
1 謡曲物語　鳥頭　謡曲界　四七―四　一二四―一三二　謡曲界発行所
一一月
1 **エマスン論文集　I**〔翻訳〕　歴史論、自恃論、報償論、霊法論、恋愛論、友情論　岩波書店
1 飯田町に舞台の出来た前後〈六平太先生にものを聞く会（II）〉　喜多　一六―一一　〔座談会〕　三四―三八　喜多流謡本刊行会
1 謡曲物語　紅葉狩　謡曲界　四七―五　九六―一〇四　謡曲界発行所
一二月
1 謡曲物語　鵺　謡曲界　四七―六　一一二―一二〇　謡曲界発行所
1 葉書随筆　文芸　六―一二　二一七　改造社
1 英文学のアングロ・ノオマン時代　学苑　五―一二　一四―一八　光葉会
4 平田禿木君へ　読売新聞　二（第一夕刊）　読売新聞社
14 **明治の文学**（月刊文章編輯部編）ノウチ　明治文学界への考察　七九―八四　厚生閣

20 **神国日本**〔翻訳〕 第一書房 一―一一 日本英文学会

＊昭和7年版の改訂版。「戦時体制版」と銘うっている。昭和7年版にある秋骨（明三）のあとがきはなく、奥付の後に長谷川巳之吉による「戦時体制版の宣言」が掲載されている

27 「近世日本と孔子」内田銀蔵、和辻哲郎氏の著〔書評〕 二（第一夕刊） 読売新聞 読売新聞社

昭和一四年

一月 1 安いホォルダーで（煙草は何をお喫ひですか、大陸へおでかけになりますか）ノウチ〔アンケート〕 月刊文章 五―一 二六 厚生閣

1 旭日昇天の文字 喜多 喜多流謡本刊行会 五六―五八

＊合本によって確認したので、刊行日、巻号数不明、ただし2月号は2月1日発行。また「毎月1日発行」とあり

1 謡曲物語 安宅 謡曲界 四八―一 一三四―一四六 謡曲界発行所

16 薄田泣菫全集 随筆篇〔書評〕 東京朝日新聞 東京朝日新聞社 四

二月 1 謡曲物語 俊寛 謡曲界 四八―二 一〇八―一一七 謡曲界発行所

25 JOHNSON伝を中心として 英文学研究 一九―一

28 チャールズ・ラムの読書観 書窓 七―一 八―一一 アオイ書房

三月 1 三月の随筆 月刊文章 五―三 三八―三九 厚生閣

1 謡曲物語 小袖曽我 謡曲界 四八―三 九八―一〇五 謡曲界発行所

15 **エマスン論文集** II〔翻訳〕 岩波書店

細慮論、勇壮論、大霊論、円環論、智力論、芸術論、詩人論

22 明治文学の興味〈劇・映画に再登場した樋口一葉（上）〉 東京日日新聞 東京日日新聞発行所 五（夕刊）

23 明治文学の興味〈島崎藤村の預けた黒鞘の懐剣（下）〉 東京日日新聞 東京日日新聞発行所 五（夕刊）

四月 1 能楽の大黒柱 観世 一〇―四 観世会 一一一―一一二

1 女性時評 作品 一〇―四 作品社 二一―二四

1 謡曲物語 羽衣 謡曲界 四八―四 一六六―一七五 謡曲界発行所

五月 1 縁 多磨 八―八 アルス 四八―五〇

1 左近氏の早世 謡曲界 四八―五 一九―二〇 謡曲界発行所

5　飯田町時代　喜多　一七―五カ
三六―三九　喜多流謡本刊行会
22　作品と装幀　帝国大学新聞
六　帝国大学新聞社
28　贈りもの　冬柏　一〇―五
四―六　冬柏発行所
六月　1　謡曲物語　道成寺　謡曲界　四八―六
一一―一二　謡曲界発行所
15　**エマスン論文集　Ⅲ**〔翻訳〕　岩波書店
経験論、人格論、作法論、進物論、自然論、政治論、名目論者と現実論者、新英州の改革者
七月　1　謡曲物語　殺生石　謡曲界　四九―一
一〇七―一一二　謡曲界発行所
1　さけ（酒）（「学想美随筆」ノウチ）　科学ペン　四―七
九四―九五　科学ペンクラブ
八月　1　The Bluestockings　英語青年　八一―九
一〇―一四　英語青年社
5　**峠**（深田久弥編）ノウチ　青木書店
十国峠・籠坂峠・長尾峠
三三一―三四四
＊『自然・気まぐれ・紀行』収録の「豆相一日の快走」の改題
九月　1　無題　英語青年　八一―一一（戸川秋骨追悼号）
一二、一四　英語青年社
25　**現代文章規範**（菊池寛編著）ノウチ　非凡閣
長岡懐古　一七四―一七六
一〇月10　**永遠の都（世界大衆文学名作選集　第十四巻）**〔Hall Caineの原著の翻訳〕　改造社

昭和一五年

九月　10　**エリア随筆**〔翻訳〕　岩波書店
一一月15　**新日本謡曲物語**　謡曲界発行所
鉢木、弱法師、熊野、自然居士、海人、殺生石、隅田川、邯鄲、巴、景清、烏頭、船弁慶、天鼓、紅葉狩、実盛、安宅、鵺、熊坂、羽衣、俊寛、道成寺、小袖曽我

昭和一六年

二月　20　**食後の散歩**〔随筆集〕　第一書房
提灯をつけてシェイクスピアの光を、或る日のピイプス、安本と植木、臆測から臆測へ、佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」、明治文学への考察、外国語・翻訳思想（万葉集翻訳を耳にして）、新鹿沢から小海線を、ウソ（嘘）、四十、五十代、教壇学徒らしさ（日高只一著「英米文学随筆」）、太平洋上夢幻の境地、雑誌「温泉」への解答、英語教養、将官の読書、サア・トマス・モア、声、菜食、カラス電車、愛恋無限、夏の読書の心覚え、秋の夜の追憶（緑雨君の訪問）、女態様々、結婚披露、幼年時代、薄のろ、中河の受賞作（透谷賞非難に答へる）、「若い人」とその映画、老人、逆、手紙、ストレィチィ氏の「エリザベスとエセックス」、弁疏、

書物の寄贈とその批評、「排他」と「拝他」、和辻氏の「面とペルソナ」、贅沢・無精・空想、再びカラス電車、不良老年、追憶と注文と、今昔学生気質、語学教育の問題、英国気質是非、春の受験風景、ハウスマンと野口君との交渉、舞台の享楽と女性、文学の輸出入、友を語る、虚偽の言葉、夏場所の番附を見て、目に青葉、小鳥の声・花の色、本多顕彰君の「文学の知識」、夢の水・式根島、未見への憧憬、吉田絃二郎氏著「わが旅の記」、戦争文学雑感、文芸時評、今年の夏、温泉日記から、エマスン―カァライルとの比較―、半世紀前の学院風景、「近世の日本」と「孔子」、食味礼讃、京都への手紙（石田憲次教授へ）、チャアルズ・ラムの読書観、忙しい生活・忙しい旅、美しい言葉・良い表現、真実にしてウソの事、JOHNSON伝を中心として、三月の随筆、女性時評、一葉さんとの交誼、小話五則、雅号の由来、明治文学の興味「大阪弁」、The Bluestockings

昭和一七年

四月 15 **樋口一葉研究**（和田芳恵編）ノウチ　新世社

一葉女史の追憶　三八六―三九〇

20 **神国日本**（田部隆次と共訳）（小泉八雲の翻訳）　第一書房

＊昭和7年11月版の改訂版

昭和二二年

三月 1 糟糠の妻を持て余して（遺稿）　芸林間歩　二―三

六―八　東京出版株式会社

一〇月1 うらわか草（遺稿）　芸林間歩　二―七

二四―二六　東京出版株式会社

〔付記〕

この著作目録作成に当たりましては、戸川家の御遺族の方々を始め、左記の図書館、研究機関に格別のご助力、ご協力を賜りました。この場で改めて、深謝申し上げます。

日本近代文学館　神奈川近代文学館　国立国会図書館　逓信博物館　富士見市立図書館　都立中央図書館　目黒区立八雲中央図書館　目黒区立中目黒図書館　横浜市中央図書館　金光図書館　三康図書館　吉野作造記念館　山口県立山口図書館　奈良県立図書情報館　山口大学図書館　香川大学付属図書館　天理大学付属天理図書館　静岡大学付属図書館　神奈川県立外語短期大学図書館　昭和女子大学近代文庫　法政大学能楽研究所　東京大学法学部明治新聞雑誌文庫　早稲田大学図書館　慶應義塾大学図書館　日本大学文理学部図書館　聖心女子大学図書館　北海道大学付属図書館　国立劇場図書館　国立能楽堂図書閲覧室　十四世喜多六平太記念能楽堂

（順不同）